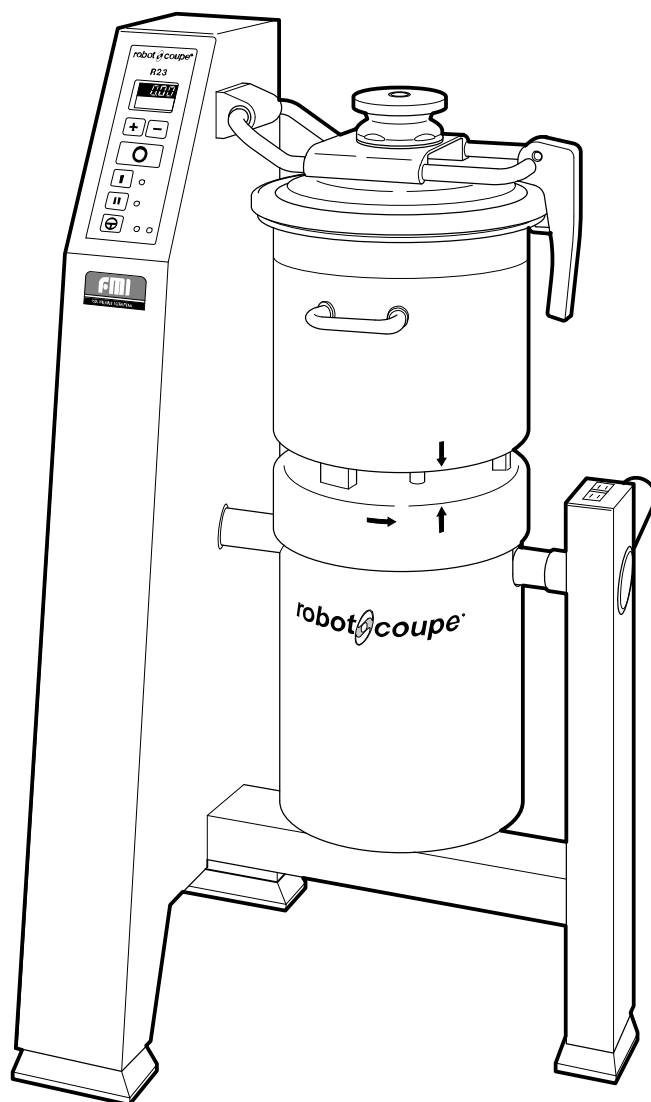


ロボクーブ カッターミキサー

R-23 / R-45 / R-60 (業務用)

robot coupe[®]**取扱説明書**

このたびは、当社のロボクーブ カッターミキサー (R-23/R-45/R-60) をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつも大切に保管し、必要なときにお読みください。

目次



安全上のご注意	1~6	各平刃(または粗い波刃)カッターの 間隔の調整	38・39
各部の名称	7・8	各カッターの主な特長と用途	40
本体	7	平刃カッター	40
操作パネル	8	粗い波刃カッター	40
平刃(または粗い波刃)カッターAssy	8	細かい波刃カッター(オプション)	40
付属品、オプション	9	ギザ刃カッター(オプション)	40
付属品	9	平刃カッターの研ぎかた	41
オプション	9	蓋用ワイパー	42~44
搬入と据付け	10~13	蓋用ワイパーの容器蓋への取り付け方法	42・43
搬入	10~12	容器蓋に取り付けた 蓋用ワイパーの使用方法	43
据付け	13	蓋用ワイパーの容器蓋からの 取り外し方法	43・44
操作手順	14~26	ブリクサーキット(オプション)	45~48
基本的な操作手順	14~20	ギザ刃カッターAssyの組み付け	45
タイマー機能を使って、設定した時間 調理をおこなう操作手順	21~26	ブリクサーキットの取り付け方法	46・47
待機モード	27	容器蓋に取り付けた 容器内スクレーパーの使用方法	47
15分以上、2時間未満本機を 操作しなかった場合	27	ブリクサーキットの取り外し方法	48
容器蓋の分解と組み立て方法	28・29	容器底シールパッキンの交換	49
容器蓋の分解方法	28	容器底シールパッキンの交換方法	49
容器蓋の組み立て方法	29	オイルシールの交換方法	49
容器の取り外し、取り付け方法	30~32	お手入れ	50~53
容器の取り外し方法	30・31	故障の診断と手当	54~57
容器の取り付け方法	32	故障かなと思ったら	54・55
平刃(または粗い波刃)カッターAssyの 分解とカッターの付け替え方法	33~36	タイマー表示ディスプレイのメッセージについて	56・57
平刃(または粗い波刃)カッターAssyの 分解方法	33・34	仕様	60
平刃(または粗い波刃)カッターAssyの 組み立て方法	35・36	保証書(別添付)について/消耗品 /補修用性能部品の保有期間	61
平刃(または粗い波刃)カッターの 2枚、または3枚の使い分け	37		
平刃(または粗い波刃)カッターを 2枚使用しての調理	37		
平刃(または粗い波刃)カッターを 3枚仕様しての調理	37		

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください




表示と意味は次のようになっています。

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

 感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 接触禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
 プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

⚠ 警告



専門業者

据付けは、お買上げ店、または専門業者に依頼すること

ご自分で据付けをされ不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



アース線接続

アース線を必ず接続すること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
設備側にアース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。



専用電源

本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



電気工事

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



屋外禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されると、漏電、ショート、感電の原因になります。



湿気禁止

湿気の多いところや、水などがかかり易い、または流れてくるところに据え付けないこと

本体や電源コードに水などがかかると、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。



水掛け禁止

本体に直接水をかけないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグ（電源プラグ使用の場合）が破損している場合は使用しないこと

そのまま使用しますと、ショート、感電、火災の原因になります。



点検清掃

電源プラグを使用している場合は、刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に電源プラグを抜いて確認し、ガタのないように確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、ショート、感電、火災の原因になります。

⚠ 警告



連絡

漏電遮断器、またはサーキットブレーカーが『OFF(切)』に作動した場合には、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON(入)』にすると、ショート、感電、火災の原因になります。



接触禁止

機械内部の電気装置や配線にさわらないこと

電気装置や配線に触れると、感電する恐れがあります。



濡手禁止

濡れた手で電源プラグなど（電源プラグ使用の場合）の電気部品に触れたり、本体の各スイッチを操作したりしないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



専用電源切

異常時は、停止スイッチを押して機械を止め、電源プラグを抜く（電源プラグ使用の場合）か、本機専用電源を『OFF(切)』にして、すぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると、ショート、感電、火災の原因になります。



ガス栓閉

ガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、窓をあけて換気すること

本機の操作スイッチを押したり、電源プラグを抜いたり（電源プラグ使用の場合）すると、引火爆発し危険です。



接触禁止

平刃（または粗い波刃）カッターAssyの刃は、鋭利ですから、直接刃の部分に触れないこと

誤って平刃（または粗い波刃）カッターAssyの刃に触れた場合、ケガの原因になります。



置場所

容器より取り外した平刃（または粗い波刃）カッターAssyは、丈夫な台の上に置くこと

転倒させたり、落としたりした場合、ケガの原因になります。



挿入禁止

平刃（または粗い波刃）カッターAssyの回転中は、容器蓋ファンネルの投入口から箸、スプーンなどを入れないこと

平刃（または粗い波刃）カッターAssyの刃や箸、スプーンなどが破損した場合は、異物混入の原因になります。



禁止

平刃（または粗い波刃）カッターAssyの回転が完全に止るまでは、容器蓋を開けないこと

誤って平刃（または粗い波刃）カッターAssyに触れた場合、ケガの原因になります。食材が飛び散り、周囲を汚す原因にもなります。



専用電源切

容器に食材を入れるときや取り出すときは、停止スイッチを押して機械を止め、電源プラグを抜く（電源プラグ使用の場合）か、本機専用電源を『OFF(切)』にすること

誤って、操作スイッチに触れた場合、平刃（または粗い波刃）カッターAssyが回転して、ケガをする恐れがあります。

⚠ 警告



専用電源切

容器の取り外しの際は、停止スイッチを押して機械を止め、電源プラグを抜く（電源プラグ使用の場合）か、本機専用電源を『OFF（切）』にすること

誤って、操作スイッチを押した場合、平刃（または粗い波刃）カッターAssyが回転してケガをする恐れがあります。



付属固定具

平刃（または粗い波刃）カッターAssyのカッターホルダーナットをゆるめる際は、付属のカッター取外し固定具を使って、平刃（または粗い波刃）カッターAssyが回転しないように固定してからおこなうこと

正しく平刃（または粗い波刃）カッターAssyが固定されていないと、回転してケガをする恐れがあります。



取付確認

容器蓋に、蓋用ワイパーやを取り付けた後は、ワイパーアームが外れないことを確認すること

蓋用ワイパーの取り付けが不十分の場合、調理中にワイパーアームが容器内に落ちる恐れがあり、異物混入の原因になります。



取付確認

容器蓋にブリクサーキット（オプション）の容器内スクレーパーを取り付けた後は、スプレーアームが外れないことを確認すること

容器内スクレーパーの取り付けが不十分の場合、調理中にスクレーパーアームが容器内に落ちる恐れがあり、異物混入の原因になります。



禁止

モーター軸部に付いているオイルシールは、傷を付けないこと

オイルシールを損傷しますと、容器から調理液や洗浄液が漏れた場合、モーター軸内へ流れ込み、漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理したりしないこと

修理に不備があると、ショート、感電、火災などの原因になります。



改造禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、容器からの液漏れや、ショート、感電、火災の原因になります。



専門業者

移設は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

電気の配線に不備があると感電、火災の原因になります。



専門業者

廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

放置しますと、子供などがケガをする原因になります。

⚠ 注意



水平据付

丈夫で平らなところに水平になるように据え付けること

据え付ける場所が、ガタついたり、かたむいていたりすると転倒、落下によるケガなどの原因になります。



禁止

本機の上に重量物や、水を入れた容器を置かないこと

落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなったり、漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

電源プラグを使用の場合、電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、電源プラグ内部でコードに傷がつき、ショート、感電、火災の原因になります。



熱器具禁止

熱器具を乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと

熱で樹脂部品が変形したり、破損したりした場合、ケガの原因になります。



低速調理

液体の食材は、必ず低速のみで調理すること

高速で調理しますと、容器と容器蓋の間から食材が漏れて、周囲を濡らす原因になります。



容器固定

容器を本体に取り付けるときは、止まるところまで回すこと

容器が本体に固定されていないと、調理中に容器の下から食材などが漏れて、周囲を汚す原因になります。



禁止

容器内に平刃（または粗い波刃）カッターAssyがある場合、たいへん危険ですから絶対に素手で食材をかき出さないこと

誤って平刃（または粗い波刃）カッターAssyの刃に触れた場合、ケガの原因になります。



指挟まない

容器蓋を取り付けるときは、指を挟まないこと

ケガの原因になります。



可燃物禁止

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置いたりしないこと

本機の操作スイッチを入れたり、電源プラグを抜いたり（電源プラグ使用の場合）すると、発火の原因になります。



専用電源切

お手入れのときや点検のときは、必ず停止スイッチを押して機械を止め、電源プラグを抜く（電源プラグ使用の場合）か、本機専用電源を「OFF(切)」にすること

誤って操作スイッチに触れた場合、平刃（または粗い波刃）カッターAssyが回転してケガの原因になります。
漏電、ショート、感電の原因にもなります。

⚠ 注意



ネジ部洗浄

洗浄の際、カッターホルダーサポートとホルダーナットのネジ部は、きれいに洗浄すること

ネジ部に付着物があると、調理中にホルダーナットがゆるむことがあります。ホルダーナットがゆるんだ状態で、カッターAssyを持つと、部品が外れて落下による、ケガの原因になります。



除菌洗浄

平刃（または粗い波刃）カッターAssyと蓋用ワイパー、容器、容器蓋、容器蓋ファンネル、容器蓋ガイド、容器蓋用キャップ、モーター軸などは使用後、必ず除菌洗浄剤で洗浄、清掃すること

除菌洗浄しないと、付着した食材が腐敗し、雑菌が繁殖して健康障害の原因になります。



分解洗浄

洗浄の際、平刃（または粗い波刃）カッターAssyと蓋用ワイパーは、必ず分解して除菌洗浄剤で洗浄、清掃すること

分解して除菌洗浄しないと、付着した食材が腐敗し、雑菌が繁殖して健康障害の原因になります。



漬け置き禁止

お手入れのときは、平刃（または粗い波刃）を洗浄液の入ったコンテナやシンクなどに、漬けたまましておかないこと

泡で平刃（または粗い波刃）カッターAssyの刃が見えなくなり、誤って刃の部分に触れると、ケガの原因になります。



洗い流す

洗剤を使ったあとは、洗剤成分を十分に洗い流すこと

洗剤成分が残っていると、健康障害の原因になります。



専用電源切

ご使用後は、安全のため停止スイッチが「OFF（切）」になっていることを確認し、電源プラグを抜く（電源プラグ使用の場合）か、本機専用電源を「OFF（切）」にすること

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。



動作点検

漏電遮断器は月に1回動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。



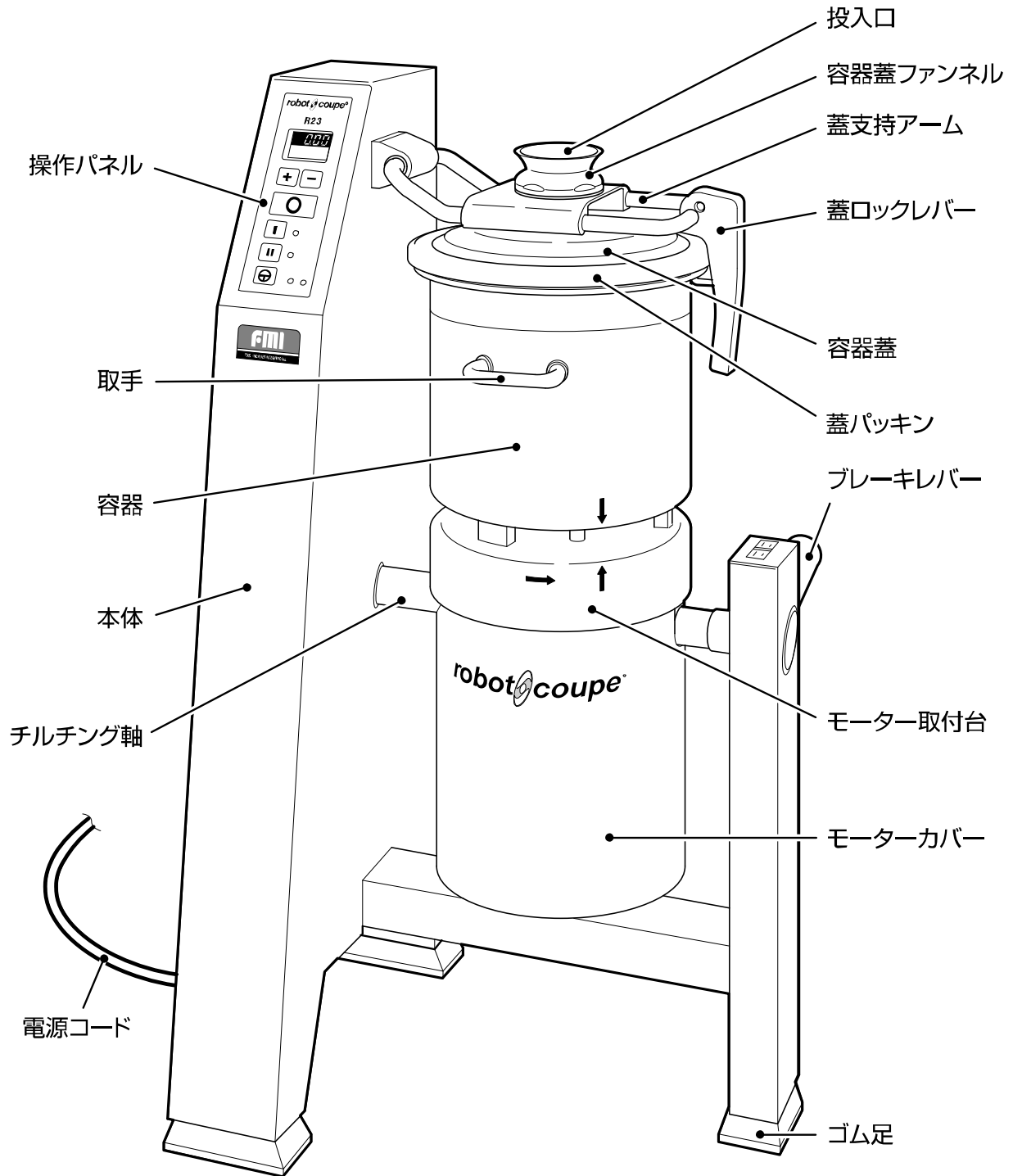
テープ止め

このお使いになっている商品を転売や、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること

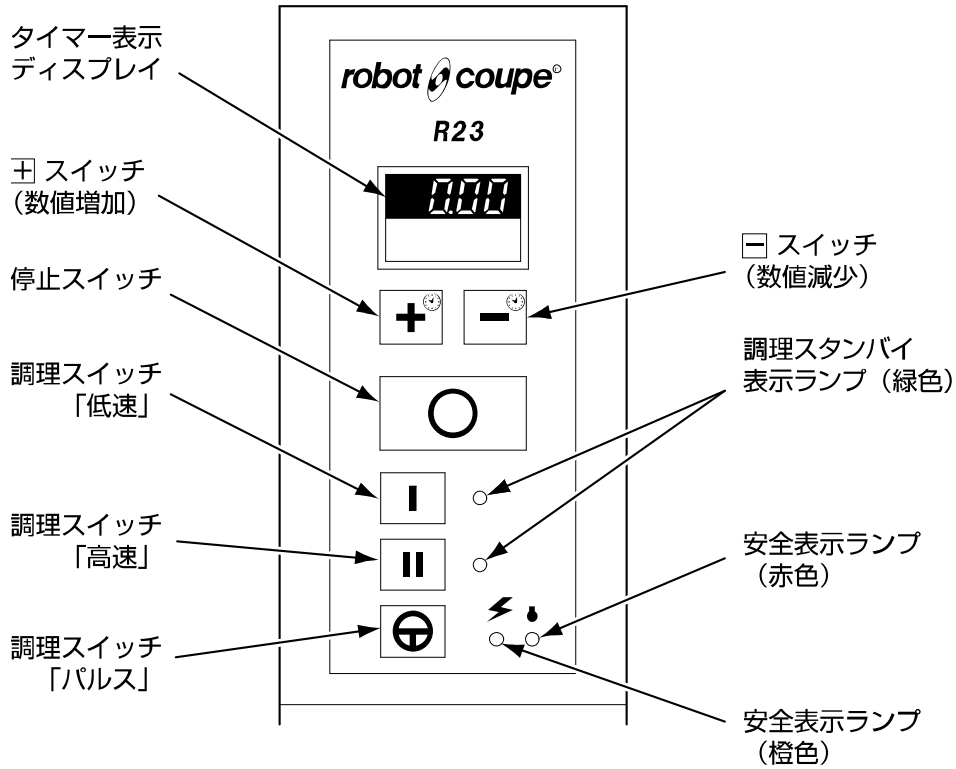
各部の名称

本機は、食材を粉碎、攪拌する機械です。

本体

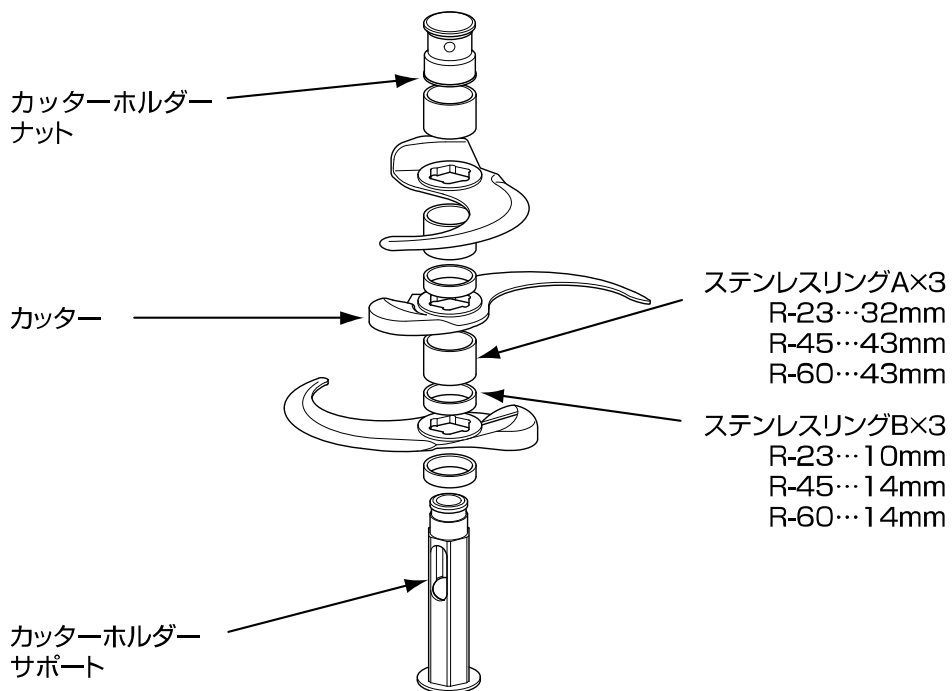


操作パネル



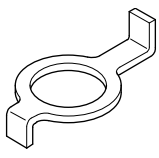
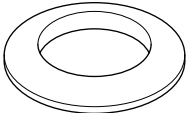
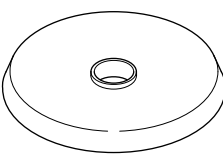
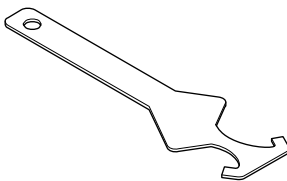

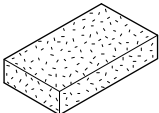
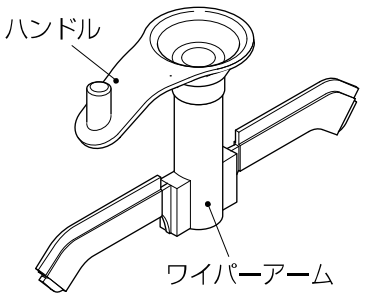
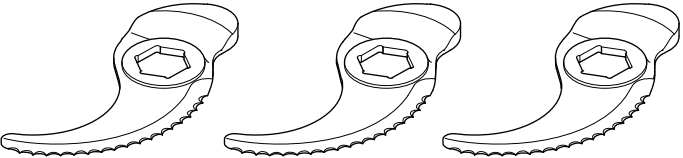
平刃 (または粗い波刃) カッター-Assy

- 「R-23」 (3枚刃・φ300・高さ190mm)
- 「R-45」 (3枚刃・φ375・高さ230mm)
- 「R-60」 (3枚刃・φ410・高さ230mm)

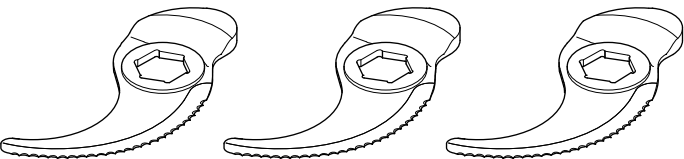
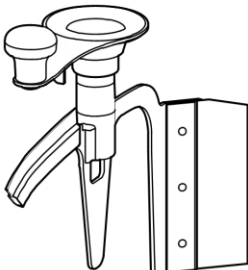
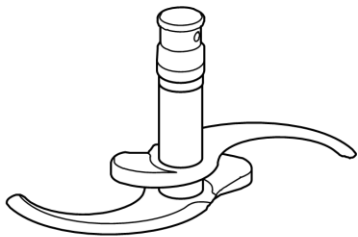


付属品、オプション

付属品

 <p>カッター取外し固定具 1個</p>	 <p>容器底シールパッキン 1個</p>	 <p>容器蓋用キャップ 1個</p>
 <p>カッター取外し棒 1本</p>	 <p>オイルシール 1個</p>	 <p>砥石 1個</p>
 <p>ハンドル ワイパーアーム 蓋用ワイパー 1組</p>	 <p>粗い波刃 1組 (3枚)</p>	

オプション

 <p>細かい波刃 1組 (3枚)</p>	
<p>容器内スクレーパー</p> 	<p>ギザ刃カッターAssy</p>  <p>ブリクサーキット</p>

搬入と据付け

⚠ 警告



湿気が多いところや、水などがかかりやすい、または流れてくるところに据え付けないこと
本体や電源コードに水などがかかると、漏電、ショート、感電の原因になります。



本機の電源は、専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



アース線を必ず接続すること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。

アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

設備側にアース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。

⚠ 注意



丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

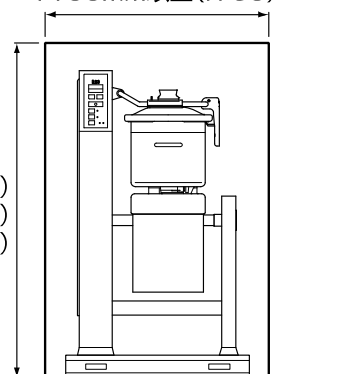
据え付ける場所が、ガタついたり、かたむいていたりしますと、転倒によるケガなどの原因になります。

搬入

本製品の搬入には、次の戸口寸法を確保してください

900mm以上(R-23)
1000mm以上(R-45)
1100mm以上(R-60)

1500mm以上(R-23)
1600mm以上(R-45)
1600mm以上(R-60)



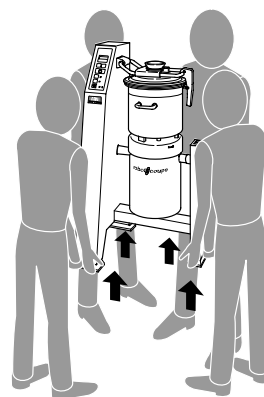
本製品を移動させるときは、次の指示に従ってください

本機を持ち上げる必要があるときは、4人以上で本体の底部を持ってください。

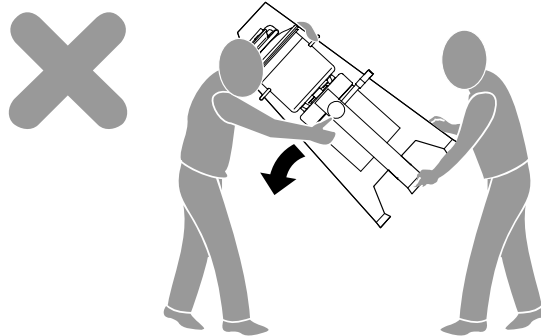
R-23：質量110kg

R-45：質量138kg

R-60：質量150kg



傾けての運搬は危険です。絶対にしないでください。

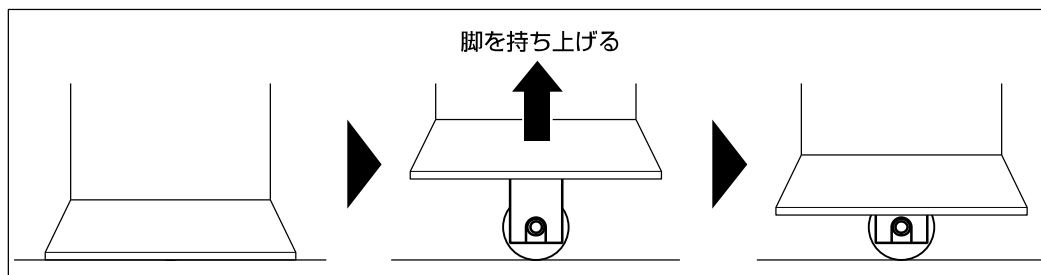


本機には、キャスターがついています。
平たんな場所で移動する場合は、キャスターを使うと楽に移動できます。
キャスターは、本機の各3箇所の脚の中に収納されています。
脚を10cm程度持ち上げると脚の中から、キャスターが出てきます。
脚を降ろすと、出てきたキャスターが固定されます。

警告

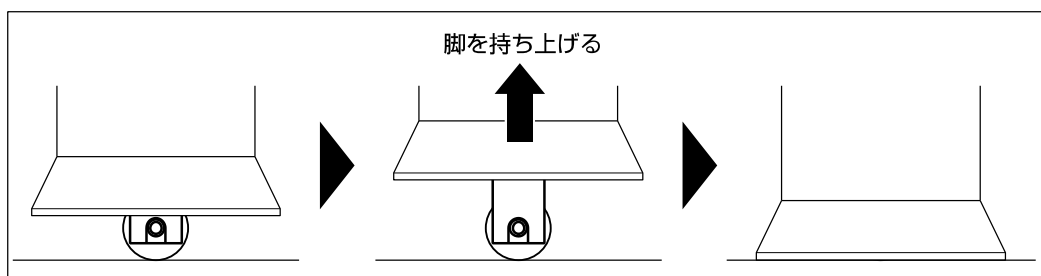


キャスターを出し入れする際、本機を転倒させないこと
本機を転倒させて、体の一部が下敷きになった場合、ケガの原因になります。
本機を破損した状態で使用した場合、ケガの原因になります。
床などを破損する原因になります。

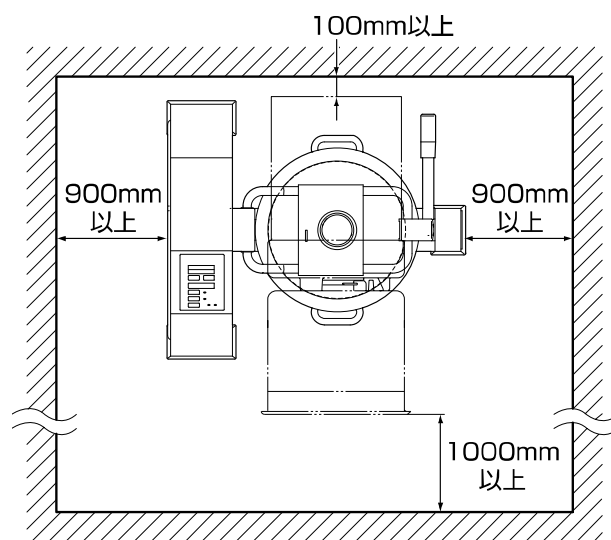


同様に他の脚からキャスターを出してください。

キャスターを収納する場合は、脚を10cm程度持ち上げてから降ろすとキャスターは収納されます。



本製品を設置するには、次のスペースを確保してください。



据付け

本機の電源コードを本機専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続してください

接続時には、モーター軸の回転方向が反時計方向になるように結線してください。

本機は、本機専用電源に電源コードを接続した場合、コードに余裕があるように据え付けてください

電源コードの長さ：3.0m 4心

電源コードのアース線を設備側のアース端子に接続してください

アース線は、電源コード内にある緑色の線です。

本機専用電源を「ON（入）」にして、モーター軸の回転方向を確認してください

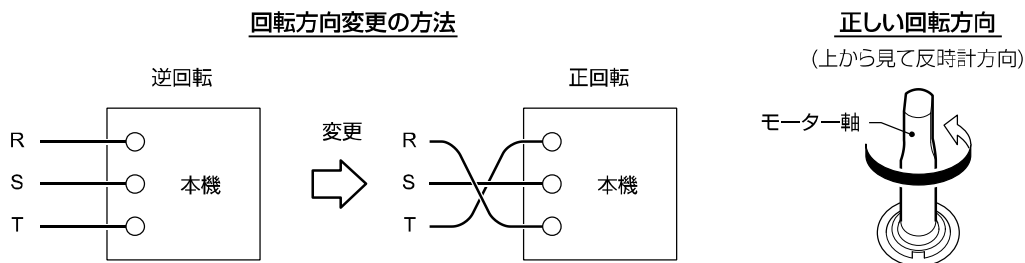
お願い

回転方向確認時、モーター軸に平刃（または粗い波刃）カッターAssyを絶対に取り付けしないでください。

モーター軸が逆回転した場合、平刃（または粗い波刃）カッターAssyが分解されて危険です。

本機のモーター軸の正しい回転方向は、上から見て反時計方向です。

逆回転になっている場合は、本機専用電源を「OFF（切）」にして、下記の「回転方向変更の方法」を参照のうえ、回転方向を変えてください。



モーター軸が、正しい回転方向に回っていることが確認できましたら、本機専用電源を「OFF（切）」にしてください。

ご使用の際は、本機専用電源を「ON（入）」にしてください

操作手順

基本的な操作手順

1. 調理を始める前に、「お手入れ」の項目を参照して、容器、容器蓋、平刃（または粗い波刃）カッターAssyをきれいに洗浄してください

操作手順の説明は「R-23」でおこなっています。

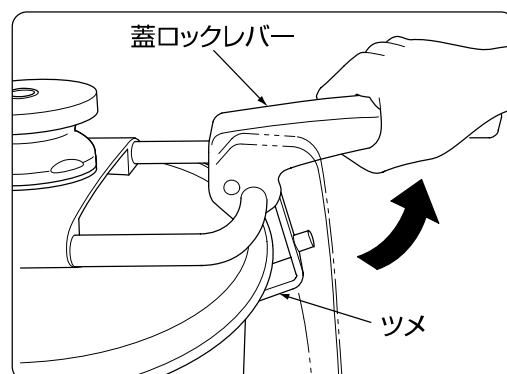
容器蓋の取り外しかたは「容器蓋の分解と組み立て方法」（28ページ）、容器の取り外しかたは「容器の取り外し、取り付け方法」（30ページ）、平刃（または粗い波刃）カッターAssyの分解のしかたは、「平刃（または粗い波刃）カッターAssyの分解とカッターの付け替え方法」（33ページ）を参照してください。

洗浄後は、各部を元通り組み立ててください。

2. 本機専用電源が「OFF（切）」になっていることを確認してください

3. 容器蓋を開けてください

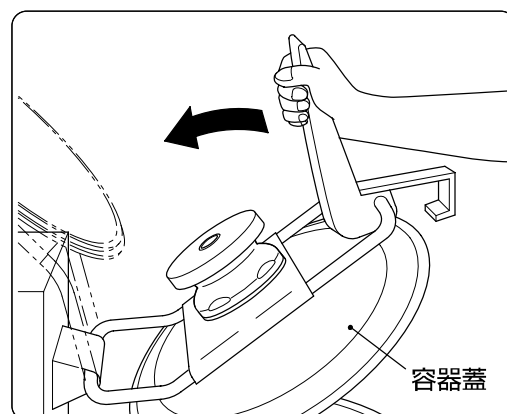
蓋ロックレバーを手前に引いて上に押し上げ、ロックを外してください。



容器蓋を、止まる場所まで開けてください。

お願い

容器蓋は、蓋パッキン保護のため、洗浄後および機械を使用しないときは開けたままにしておいてください。



4. 容器内に平刃（または粗い波刃）カッターAssyを取り付けてください

警告



平刃（または粗い波刃）カッターAssyの刃は鋭利ですから、直接刃の部分に触れないこと
誤って平刃（または粗い波刃）カッターAssyの刃に触れた場合、ケガの原因になります。

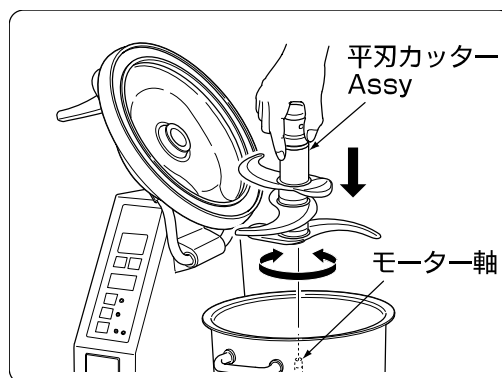
平刃（または粗い波刃）カッターAssy上部のホルダーナット部を持ち、モーター軸に真上からゆっくり差し込んでください。

モーター軸に差し込みましたら、コトンと落ち込む位置まで左右に少し回してください。

お願い

必ず平刃（または粗い波刃）カッターAssyが確実に取り付けられているか確認してください。

平刃（または粗い波刃）カッターAssyが確実に取り付けしていない状態で調理をおこなうと、平刃（または粗い波刃）カッターAssyが浮き上がってしまいカッターの刃自体が破損します。



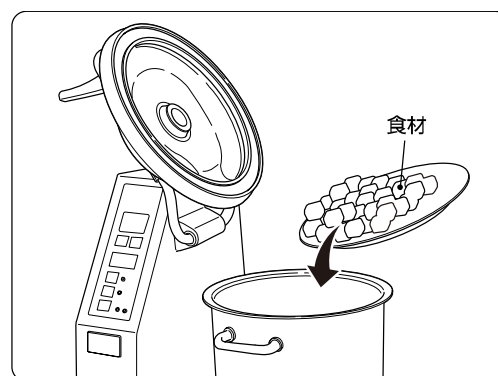
5. 調理する食材を容器内に入れてください

お願い

容器に食材を入れるときは、必ず先に平刃（または粗い波刃）カッターAssyを取り付けてください。

先に食材を入れますと、平刃（または粗い波刃）カッターAssyの取り付けができなくなります。

1回に調理できる量は、調理する食材により異なりますが、目安として容器の1/3～2/3の範囲内の量を入れてください。



最大処理量目安			
	R-23	R-45	R-60
粗刻み	10kg	18kg	24kg
粘度の高い流動食など	11kg	24kg	28kg
麺やパン生地をこねる	7kg	12kg	16kg
砕く	5kg	9kg	12kg

液体の食材を調理する場合は、下記の量の範囲内で調理し、必ず低速で調理してください。

「R-23」…16L以内

「R-45」…26L以内

「R-60」…30L以内

上記の範囲を超える量の液体を入れたり、高速で調理したりすると、調理中に容器蓋部分から液体が漏れ出る恐れがあります。

調理する食材は、85℃以下のものにしてください。

調理中に85℃を超える食材は、調理しないでください。

容器蓋と蓋パッキン、平刃（または粗い波刃）カッターAssyの樹脂リングは、85℃を超える食材を調理すると変形したり、変色したりする恐れがあります。

本機専用電源を『ON（入）』にする前に、容器蓋を閉めないでください。

容器蓋を閉めた状態で本機専用電源を『ON（入）』にすると安全表示ランプ（橙色）が点灯しますが、調理スイッチを押しても機械は動作しません。

6. 本機専用電源を「ON (入)」にしてください

本機専用電源を「ON (入)」にすると、タイマー表示ディスプレイに「Cx Fyy」というメッセージが流れたあと「0.00」と表示され、操作パネルの安全表示ランプ（橙色）が点灯します。

「x」 → 機械の型式を数字で示しています。

「0」は、R-23

「5」は、R-45、またはR-60

「yy」 → 周波数を示しています。

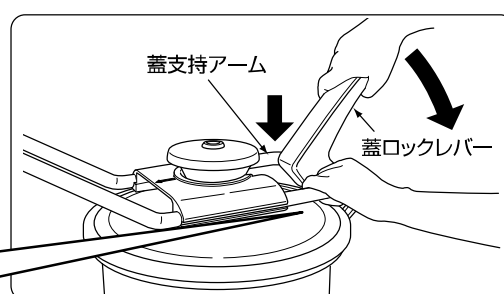
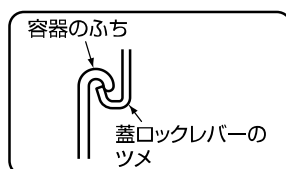
「50」は、50Hz

「60」は、60Hz

例えば、R-23を三相200V 60Hzの電源に接続すると「C0 F60」、R-45を三相200V 50Hzの電源に接続すると「C5 F50」のメッセージが流れます。

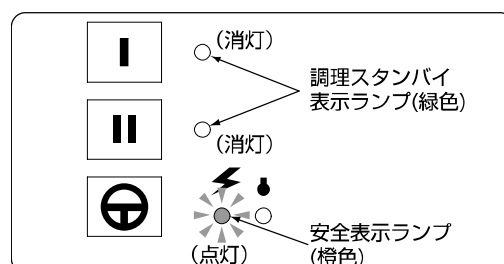
7. 容器蓋を閉めてください

容器蓋を下ろし、蓋支持アームをしっかり押さえ付けながら、蓋ロックレバーを下げて容器上のふちにツメを引っ掛け、確実にロックしてください。

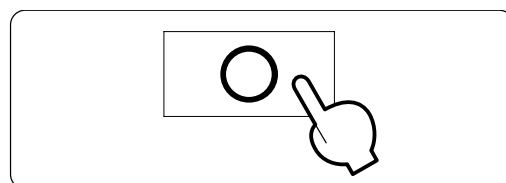


容器蓋が閉まると、安全表示ランプ（橙色）が点灯し、調理スタンバイ表示ランプ（緑色）2個が消灯します。

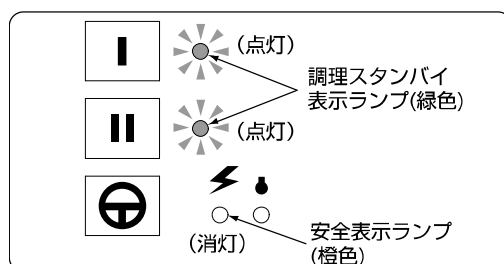
この状態では、調理スイッチを押しても、機械はまだ動作しません。







8. 停止スイッチ()を押してください



安全表示ランプ（橙色）が消灯し、調理スタンバイ表示ランプ（緑色）2個が点灯して、調理スタンバイモードになります。





9. 調理を開始してください

操作スイッチ	動作
パルススイッチ()	押している間だけ平刃カッター（または粗い波刃） Assyが低速で回転します。 (50Hz：1500r.p.m./60Hz：1800r.p.m.) 調理中、低速調理スイッチのランプ（緑色）が点灯します。
低速調理スイッチ()	平刃カッター（または粗い波刃） Assyが低速で連続回転します。 (50Hz：1500r.p.m./60Hz：1800r.p.m.) 調理中、低速調理スイッチのランプ（緑色）が点灯します。
高速調理スイッチ()	平刃カッター（または粗い波刃） Assyが高速で連続回転します。 (50Hz：3000r.p.m./60Hz：3600r.p.m.) 調理中、高速調理スイッチのランプ（緑色）が点灯します。
停止スイッチ()	平刃カッター（または粗い波刃） Assyの回転が止まります。


⚠ 注意






液体の食材は、必ず低速のみで調理すること
高速で調理しますと、容器と容器蓋の間から食材が漏れて、周囲を濡らす原因になります。

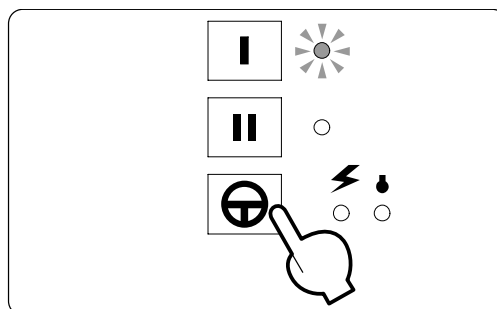
最初にパルススイッチ()を数回押して食材を少し刻んでから低速調理スイッチ()で調理をおこなってください。
ムラなく調理できます。


お願い

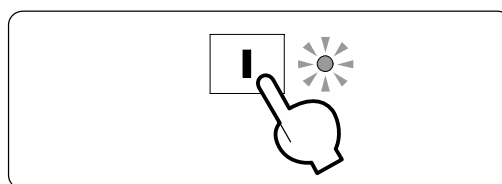
パルススイッチ()は、食材のキザミおよび調理ははじめのかきまぜ攪拌に使用し、調理終了後には使用しないでください。

調理した食材は粘度が増しています。
その状態でパルススイッチ()を使用すると、モーターに大きな負荷がかかり、過負荷保護装置がはたらいて、機械が停止する原因になります。

調理は、主に低速調理スイッチ()でおこない、最後の仕上げに高速調理スイッチ()で30秒程度調理してください。








低速調理スイッチ()を押して調理をおこなってください。







お願い

調理スイッチを切替える場合は、下記の順番でおこなってください。

低速から高速に切り換える場合……低速調理スイッチ() → 高速調理スイッチ()

高速から低速に切り換える場合……高速調理スイッチ() → 停止スイッチ() → 低速調理スイッチ()

高速からパルスに切り換える場合……高速調理スイッチ() → 停止スイッチ() → パルススイッチ()

高速調理スイッチ()から、直接低速スイッチ()およびパルススイッチ()には絶対に切り換えないでください。

モーターに大きな負荷がかかり、故障の原因になります。

平刃（または粗い波刃）カッターAssyのカッターホルダーナットが緩む場合があり、平刃（または粗い波刃）カッターが外れると、ケガの原因にもなります。

調理中、異常音や振動が大きいときは、食材の量が多いことが考えられますので、食材の量を減らしてください。

異音や振動が大きいまま調理を続けると、モーターの負荷が大きく、機械の故障の原因になります。

粘度の高い食材は、容器の1/3以下の量に抑えて、20秒以内で調理してください。

調理時間が長いと、故障の原因になります。


本機の定格時間は15分です。1回の運転は、長くても15分以内に行ってください。

容器蓋は、透明になっていますので、調理の仕上がり状態を見ながら食材の量や調理時間の調整をおこなってください。

本機は調理能力が非常に高いため、食材から目を離さずに適切にスイッチを押してください。

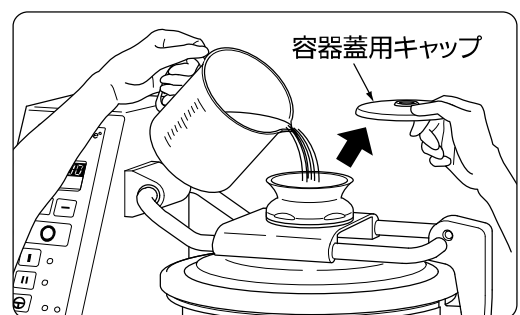
本機にはタイマー機能があります。

タイマー機能で時間を設定すると、設定した時間、調理をおこないます。

調理時間がある程度決まっている調理は、タイマー機能を使うことで、調理時間を計りながら停止スイッチ()を押すといった作業が不用になります。

「タイマー機能を使って、設定した時間調理をおこなう操作手順」(21ページ)を参照してください。

容器蓋ファンネルの穴部は、投入口になっています。必要に応じて、容器蓋用キャップを取り外し、追加食材や調味料を投入してください。



警告



平刃（または粗い波刃）カッターAssyの回転中は、投入口から箸、スプーンなどを入れないこと

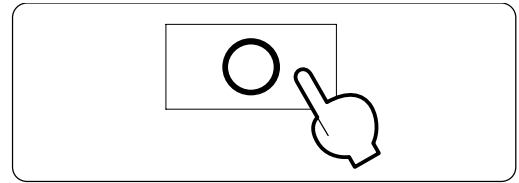
平刃（または粗い波刃）カッターAssyの刃や箸、スプーンなどが破損した場合、異物混入の原因になります。

お願い


調理中、追加食材や調味料を投入口から投入するとき以外は、必ず容器蓋用キャップを取り付けてください。

10. 調理後は、停止スイッチ()を押して、機械を止めてください


平刃（または粗い波刃）カッターAssyの回転が止まります。



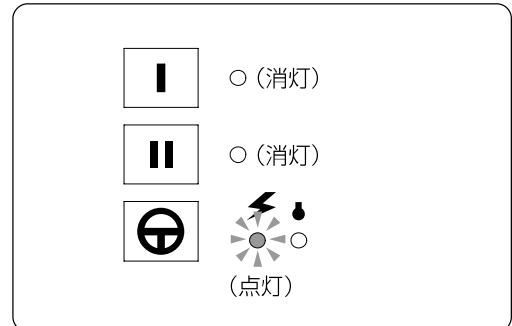
11. 容器蓋を開けてください

容器蓋を開けると、操作パネルの緑色の調理スタンバイ表示ランプ2個が消灯し、「」印下の橙色の安全表示ランプが点灯します。

⚠ 注意



平刃（または粗い波刃）カッターAssyの回転が完全に止まるまでは、容器蓋を開けないこと
誤って平刃（または粗い波刃）カッターAssyに触れた場合、ケガの原因になります。
食材が飛び散り、周囲を汚す原因にもなります。

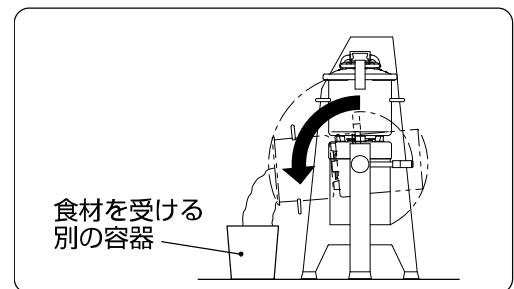


12. 食材を取り出してください

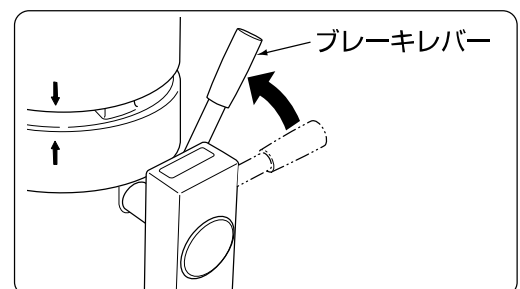
お願い

食材が液体の場合は、容器を傾ける前に平刃（または粗い波刃）カッターAssy を取り外しておいてください。

食材を受けるため、別の容器を用意してください。
容器は食材を十分に受けることができる位置に置いてください。



ブレーキレバーを上方に持ち上げ、止まるところまで反時計方向へ回してロックを緩めてください。

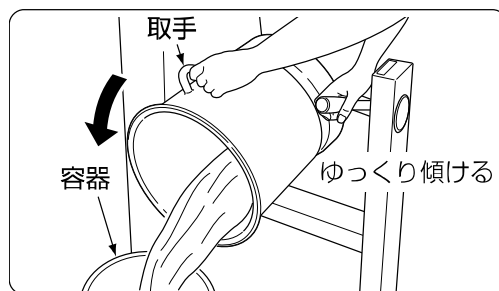


片手で容器の取手を持ちながら、容器を左方向にゆっくり傾けてください。

容器は90° 近くまで傾けることができます。

途中の角度で止めるときは、容器を好みの角度に止めて、ブレーキレバーを時計方向へしっかり押し付けてください。

液体以外の食材の場合は、カッターホルダーナットが見えるまでお手持ちのヘラ等で食材を取り出し、その後カッターホルダーナット部分を持って平刃（または粗い波刃）カッターAssyを取り外してください。

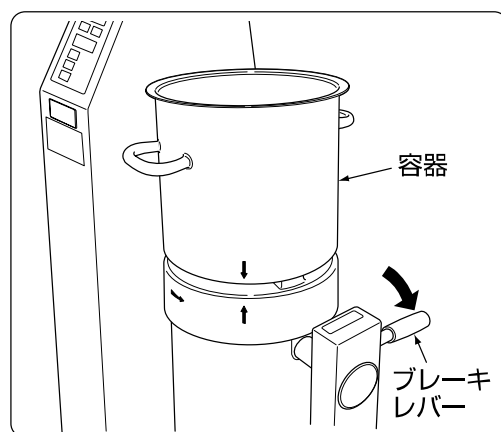


⚠ 注意



容器内に平刃（または粗い波刃）カッターAssyがある場合、たいへん危険ですから絶対に素手で食材をかき出さないこと
誤って平刃（または粗い波刃）カッターAssyに触れた場合、ケガの原因になります。

食材を取り出した後は、容器を元の垂直の位置に戻し、ブレーキレバーを時計方向に止まる場所まで回してしっかり締め付けてください。



13. 洗浄、清掃をおこなってください

調理終了後は、「お手入れ」（50ページ）を参照して、各部をきれいに洗浄、清掃してください。


お願い

本機は、本機専用電源を「ON（入）」にしている状態で、15分以上何も操作をしないと、待機モードになります。

本機が待機モードになっている場合は、「待機モード」（27ページ）を参照して待機モードから調理スタンバイモードに切り替えてください。

タイマー機能を使って、設定した時間調理をおこなう操作手順

タイマー機能で時間を設定すると、設定した時間、調理をおこないます。

調理時間がある程度決まっている調理は、タイマー機能を使うことで、調理時間を計りながら停止スイッチ()を押すといった作業が不用になります。

1. 調理を始める前に、「お手入れ」の項目を参照して、容器、容器蓋、平刃（または粗い波刃）カッターAssyをきれいに洗浄してください

操作手順の説明は「R-23」でおこなっています。

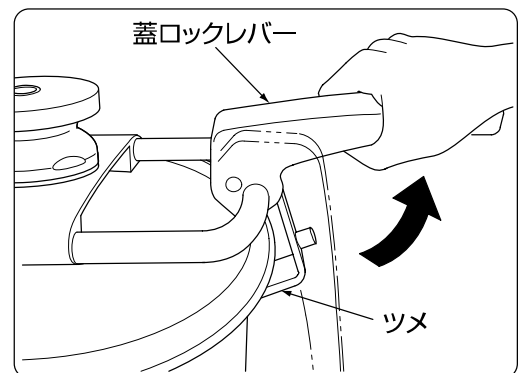
容器蓋の取り外しかたは「容器蓋の分解と組み立て方法」（28ページ）、容器の取り外しかたは「容器の取り外し、取り付け方法」（30ページ）、平刃（または粗い波刃）カッターAssyの分解のしかたは、「平刃（または粗い波刃）カッターAssyの分解とカッターの付け替え方法」（33ページ）を参照してください。

洗浄後は、各部を元通り組み立ててください。

2. 本機専用電源が「OFF（切）」になっていることを確認してください

3. 容器蓋を開けてください

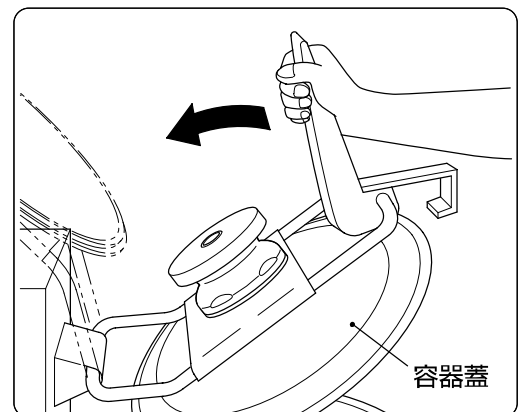
蓋ロックレバーを手前に引いて上に押し上げ、ロックを外してください。



容器蓋を、止まる場所まで開けてください。

お願い

容器蓋は、蓋パッキン保護のため、洗浄後および機械を使用しないときは開けたままにしておいてください。



4. 容器内に平刃（または粗い波刃）カッターAssyを取り付けてください

⚠ 注意



平刃（または粗い波刃）カッターAssyの刃は鋭利ですから、直接刃の部分に触れないこと
誤って平刃（または粗い波刃）カッターAssyの刃に触れた場合、ケガの原因になります。

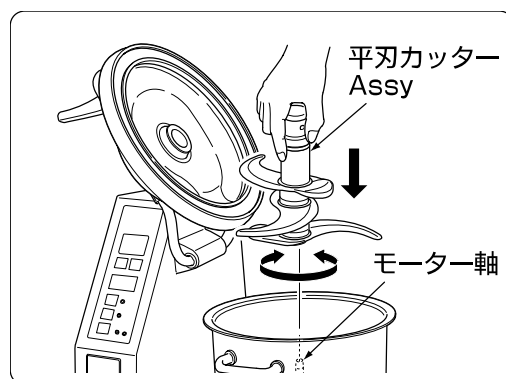
平刃（または粗い波刃）カッターAssy上部のホルダーナット部を持ち、モーター軸に真上からゆっくり差し込んでください。

モーター軸に差し込みましたら、コットンと落ち込む位置まで左右に少し回してください。

お願い

必ず平刃（または粗い波刃）カッターAssyが確実に取り付けられているか確認してください。

平刃（または粗い波刃）カッターAssyが確実に取り付けしていない状態で調理をおこなうと、平刃（または粗い波刃）カッターAssyが浮き上がってしまいカッターの刃自体を破損します。



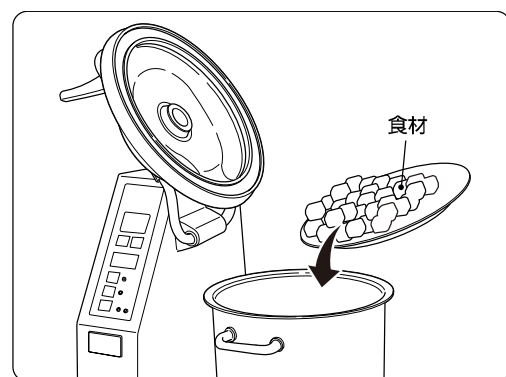
5. 調理する食材を容器内に入れてください

お願い

容器に食材を入れるときは、必ず先に平刃（または粗い波刃）カッターAssyを取り付けてください。

先に食材を入れようと、平刃（または粗い波刃）カッターAssyの取り付けができなくなります。

1回に調理できる量は、調理する食材により異なりますが、目安として容器の1/3～2/3の範囲内の量を入れてください。



最大処理量目安			
	R-23	R-45	R-60
粗刻み	10kg	18kg	24kg
粘度の高い流動食	11kg	24kg	28kg
麺やパン生地をこねる	7kg	12kg	16kg
砕く	5kg	9kg	12kg

液体の食材を調理する場合は、下記の量の範囲内で調理し、必ず低速で調理してください。

「R-23」…16L以内

「R-45」…26L以内

「R-60」…30L以内

上記の範囲を超える量の液体を入れたり、高速で調理したりすると、調理中に容器蓋部分から液体が漏れ出る恐れがあります。

調理する食材は、85℃以下のものにしてください。

調理中に85℃を超える食材は、調理しないでください。

容器蓋と蓋パッキン、カッターAssyの樹脂リングは、85℃を超える食材を調理すると変形したり、変色したりする恐れがあります。

本機専用電源を『ON（入）』にする前に、容器蓋を閉めないでください。

容器蓋を閉めた状態で本機専用電源を『ON（入）』にすると安全表示ランプ（橙色）が点灯しますが、調理スイッチを押しても機械は動作しません。

6. 本機専用電源を「ON (入)」にしてください

本機専用電源を「ON (入)」にすると、タイマー表示ディスプレイに「Cx Fyy」というメッセージが流れたあと「0.00」と表示され、操作パネルの安全表示ランプ（橙色）が点灯します。

「x」 → 機械の型式を数字で示しています。

「0」は、R-23

「5」は、R-45、またはR-60

「yy」 → 周波数を示しています。

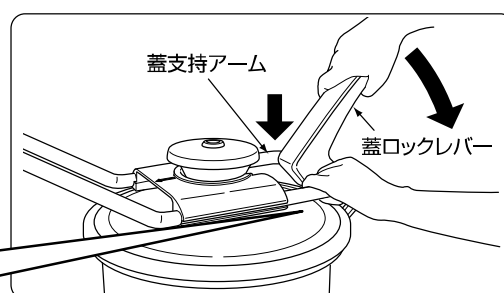
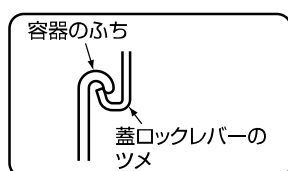
「50」は、50Hz

「60」は、60Hz

例えば、R-23を三相200V 60Hzの電源に接続すると「C0 F60」、R-45を三相200V 50Hzの電源に接続すると「C5 F50」のメッセージが流れます。

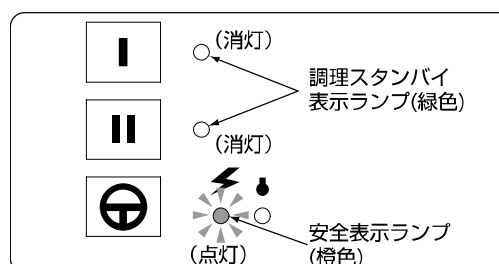
7. 容器蓋を閉めてください

容器蓋を下ろし、蓋支持アームをしっかり押さえ付けながら、蓋ロックレバーを下げて容器上のふちにツメを引っ掛け、確実にロックしてください。

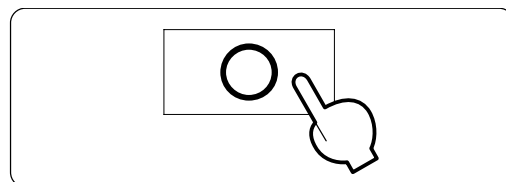


容器蓋が閉まると、安全表示ランプ（橙色）が点灯し、調理スタンバイ表示ランプ（緑色）2個が消灯します。

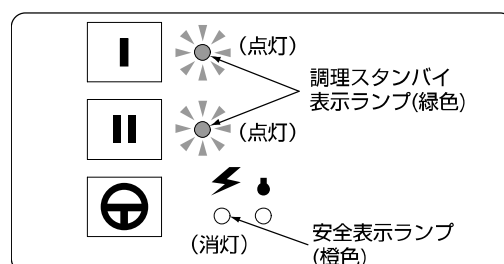
この状態では、調理スイッチを押しても、機械はまだ動作しません。



8. 停止スイッチ()を押してください



安全表示ランプ（橙色）が消灯し、調理スタンバイ表示ランプ（緑色）2個が点灯して、調理スタンバイモードになります。



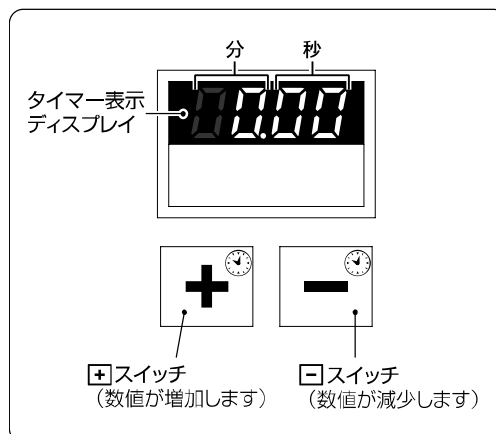
9. 調理時間を設定してください

タイマー表示ディスプレイに「0.00」と表示されている状態で、**+** スイッチを押すと、「0.05」（5秒）と表示され、そのあとは、**+** スイッチを押すごとに1秒増えます。

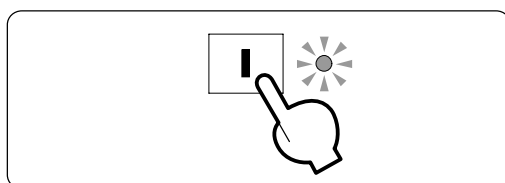
- スイッチを押すごとに1秒減ります。

最高15分まで設定できます。

+ スイッチを長く押し続けると、タイマー表示ディスプレイの数値が速く増えていきます。



10. 低速調理スイッチ(**□**)を押して調理を開始してください



操作スイッチ	動作
低速調理スイッチ(□)	平刃カッター（または粗い波刃）Assyが低速で連続回転します。 (50Hz：1500r.p.m./60Hz：1800r.p.m.) 調理中、低速調理スイッチのランプ（緑色）が点灯します。
停止スイッチ(○)	平刃カッター（または粗い波刃）Assyの回転が止まります。

⚠ 注意



液体の食材は、必ず低速のみで調理すること
高速で調理しますと、容器と容器蓋の間から食材が漏れて、周囲を濡らす原因になります。

調理中は、タイマー表示ディスプレイの数値が減算していきます。

「0.00」になると調理を終了し、タイマー表示ディスプレイには設定値が表示されます。
平刃（または粗い波刃）カッターAssyの回転が止まります。


タイマー調理の途中で、停止スイッチ(**○**)を押した場合、残りの時間が表示されたまま、平刃（または波刃）カッターAssyの回転が止まります。

継続して調理をおこなう場合は、低速調理スイッチ(**□**)を押すと、残りの時間、調理をおこないます。


継続して調理をしない場合は、**-** スイッチを押してタイマー表示ディスプレイの数値を「0.00」に戻す、または一度本機専用電源を「OFF（切）」にしてタイマー機能を解除してください。

- スイッチを押してタイマー表示ディスプレイの数値を「0.00」に戻す、または一度本機専用電源を「OFF（切）」にしなければ、タイマー機能を繰り返しお使いいただくことができます。

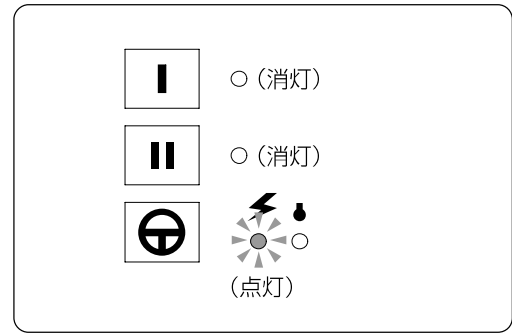
11. 容器蓋を開けてください

容器蓋を開けると、操作パネルの緑色の調理スタンバイ表示ランプ2個が消灯し、「」印下の橙色の安全表示ランプが点灯します。

注意



平刃（または粗い波刃）カッターAssyの回転が完全に止まるまでは、容器蓋を開けないこと
誤ってカッターAssyに触れた場合、ケガの原因になります。
食材が飛び散り、周囲を汚す原因にもなります。

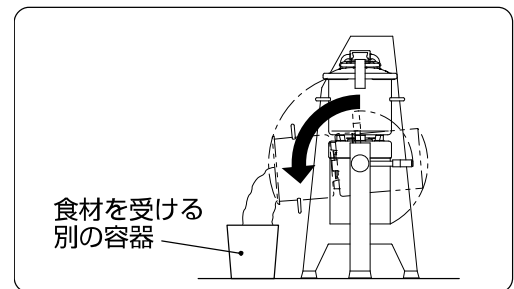


12. 食材を取り出してください

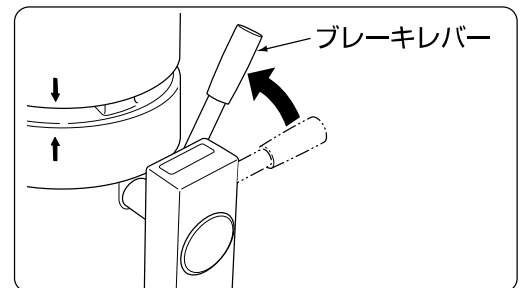
お願い

食材が液体の場合は、容器を傾ける前に平刃（または粗い波刃）カッターAssy を取り外しておいてください。

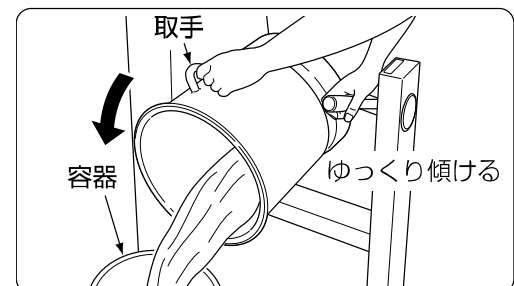
食材を受けるため、別の容器を用意してください。
容器は食材を十分に受けることができる位置に置いてください。



ブレーキレバーを上方に持ち上げ、止まるところまで反時計方向へ回してロックを緩めてください。



片手で容器の取手を持ちながら、容器を左方向にゆっくり傾けてください。
容器は90° 近くまで傾けることができます。
途中の角度で止めるときは、容器を好みの角度に止めて、ブレーキレバーを時計方向へしっかり押し付けてください。



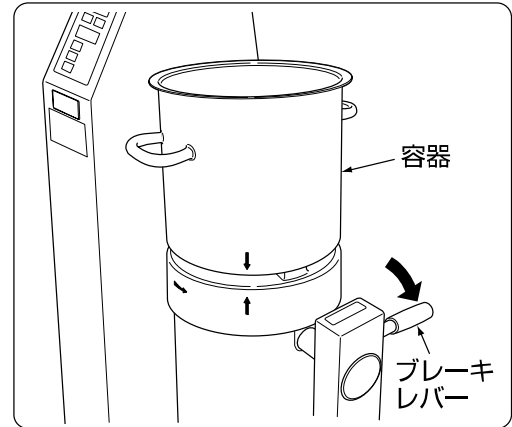
液体以外の食材の場合は、カッターホルダーナットが見えるまでお手持ちのヘラ等で食材を取り出し、その後カッターホルダーナット部分を持って平刃（または粗い波刃）カッターAssyを取り外してください。

△ 注意



容器内に平刃（または粗い波刃）カッターAssyがある場合、たいへん危険ですから絶対に素手で食材をかき出さないこと
誤って平刃（または粗い波刃）カッターAssyに触れた場合、ケガの原因になります。

食材を取り出した後は、容器を元の垂直の位置に戻し、ブレーキレバーを時計方向に止まる場所まで回してしっかり締め付けてください。



13. 洗浄、清掃をおこなってください

調理終了後は、「お手入れ」（50ページ）を参照して、各部をきれいに洗浄、清掃してください。

お願い

本機は、本機専用電源を「ON（入）」にしている状態で、15分以上何も操作をしないと、待機モードになります。

本機が待機モードになっている場合は、「待機モード」（27ページ）を参照して待機モードから調理スタンバイモードに切り替えてください。

待機モード

本機は、本機専用電源を「ON（入）」にしている状態で、15分以上何も操作をしないと、待機モードになります。

下記を参照して、調理スタンバイモードに切り替えてください。

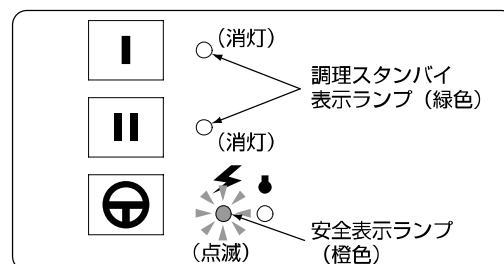
15分以上、本機を操作しなかった場合

調理スタンバイ表示ランプ（緑色）2個と、タイマー表示ディスプレイが消灯し、安全表示ランプ（橙色）のみが2秒毎に点滅します。

本機専用電源が「ON（入）」になっている状態をお知らせしています。

この状態の待機モードを終了するには、いずれかの調理スイッチを押すか、容器蓋の開閉をおこなってください。

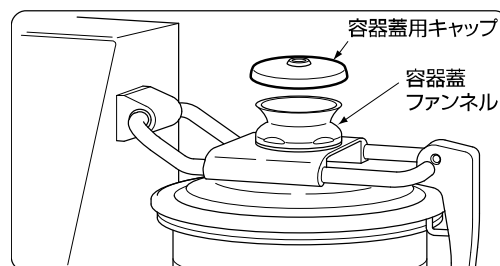
調理スタンバイモードになります。



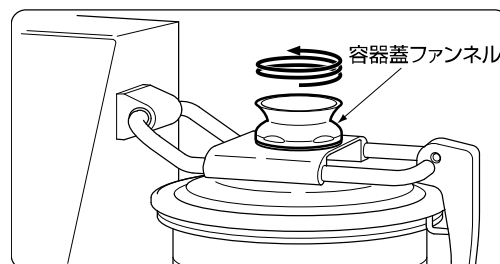
容器蓋の分解と組み立て方法

容器蓋の分解方法

1. 容器蓋ファンネルから、容器蓋用キャップを取り外してください

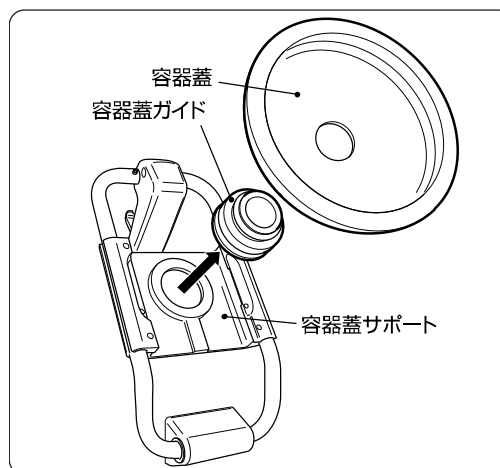


2. 容器蓋を閉めた状態で、容器蓋ファンネルを反時計方向に回して容器蓋サポートから、取り外してください

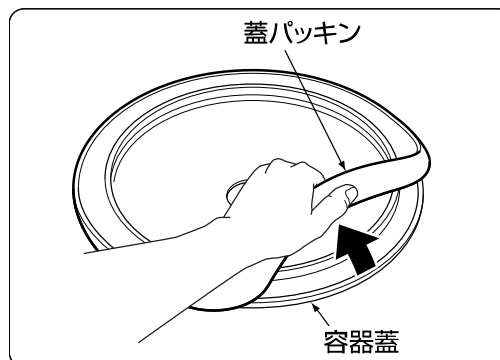


3. 容器蓋を開け、容器蓋、容器蓋ガイドの順に取り外してください

容器蓋ファンネルを先に取り外さないと、容器蓋と容器蓋ガイドの取り外しができません。



4. 容器蓋から、蓋パッキンを取り外してください



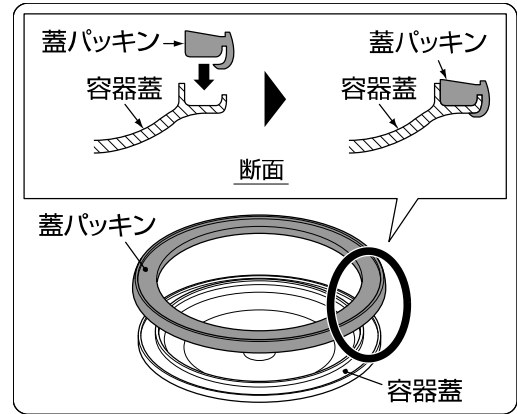
容器蓋の組み立て方法

1. 容器蓋に、蓋用パッキンを取り付けてください

お願い

蓋パッキンは、右図を参考に容器蓋にしっかりと取り付けてください。

蓋パッキンの取り付けかたが悪いと、調理のときに容器蓋が閉まらない原因になります。

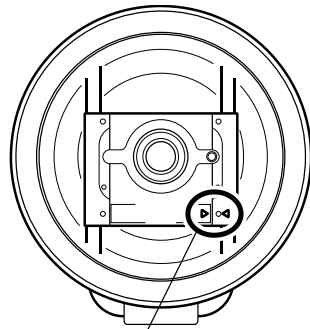


2. 容器蓋サポートに、容器蓋ガイドを取り付けてください

3. 容器蓋ガイドに容器蓋を取り付けてください

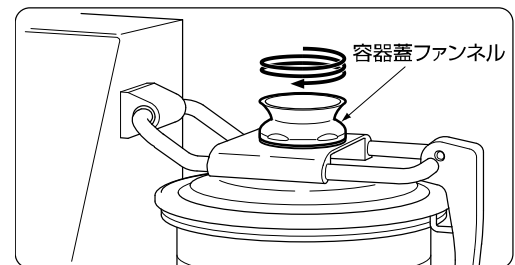
容器蓋の△マークを容器蓋サポートの△マークに合うように容器蓋を回してください。

容器蓋の△マークを容器蓋サポートの△マークに合っていないと、調理スタンバイ状態になりません。

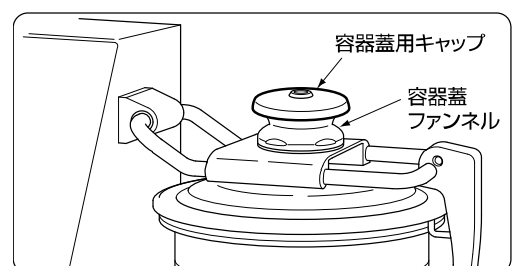


容器蓋の△マークと
容器蓋サポートの△マークを
合わせる

4. 容器蓋を閉め、容器蓋ファンネルを取り付け、締め込んで固定してください



5. 容器蓋ファンネルに、容器蓋用キャップを取り付けてください



容器の取り外し、取り付け方法

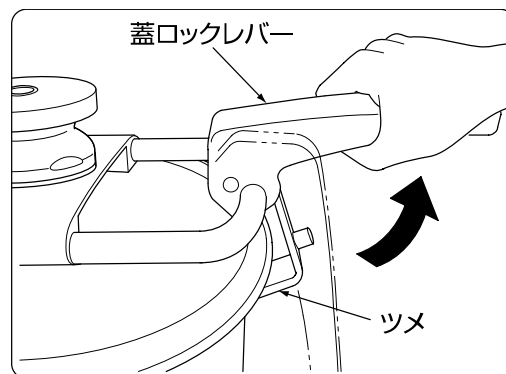
容器の取り外し方法

1. 本機専用電源を「OFF（切）」にしてください

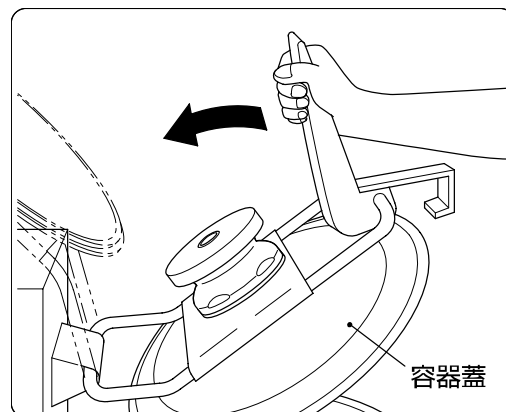
電源プラグをお使いの場合は、電源プラグを抜いてください。

2. 容器蓋を開けてください

蓋ロックレバーを手前に引いて上に押し上げ、ロックを外してください。



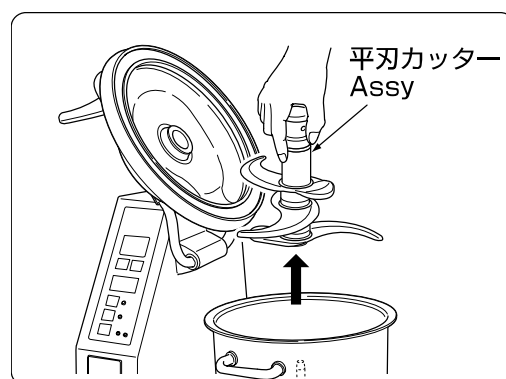
容器蓋を止まるところまで開けてください。



3. 容器内から平刃（または粗い波刃）カッター Assyを取り出してください

平刃（または粗い波刃）カッター Assyが容器内にある場合は、取り出してください。

平刃（または粗い波刃）カッター Assyは、上部のホルダーナット部分をしっかり持って、真上にモーター軸から抜き取ってください。

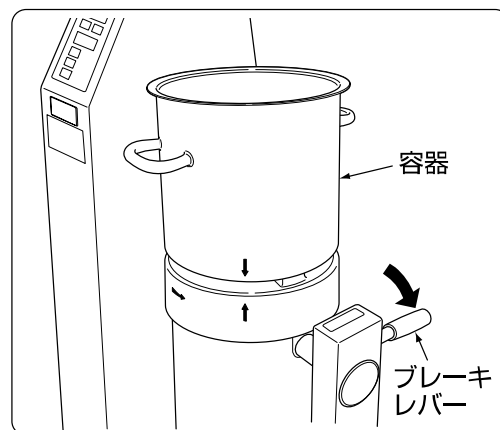


警告

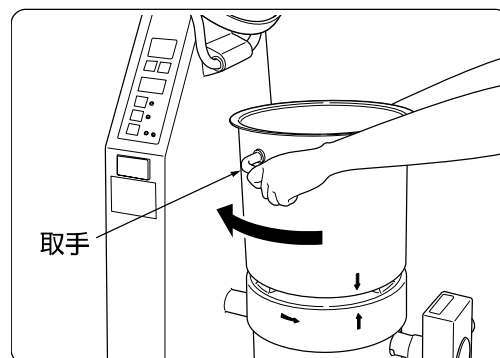


容器より取り外した平刃（または粗い波刃）カッター Assyは、丈夫な台の上に置くこと転倒させたり、落としたりした場合、ケガの原因になります。

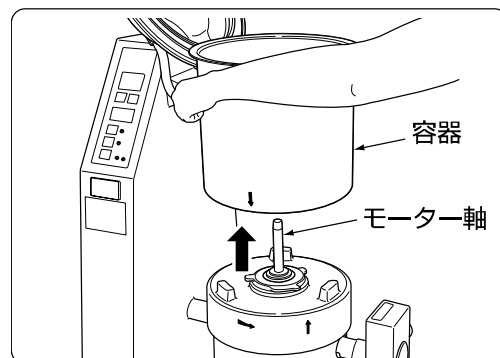
4. ブレーキレバーを時計方向に回して、しっかり固定されていることを確認してください



5. 容器の取手を両手で持ち、上から見て時計方向に約45°回してください
容器取付ベースのロックが外れます。

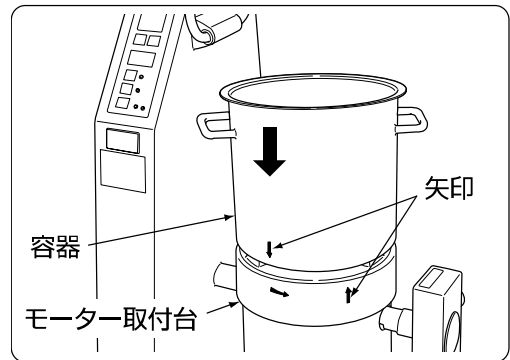


6. 容器の取手を持ったまま真っ直ぐ上方に持ち上げて、モーター軸（モーター取付台）から取り外してください



容器の取り付け方法

1. 容器の矢印を右図のように向け、モーター軸に差し込んでください

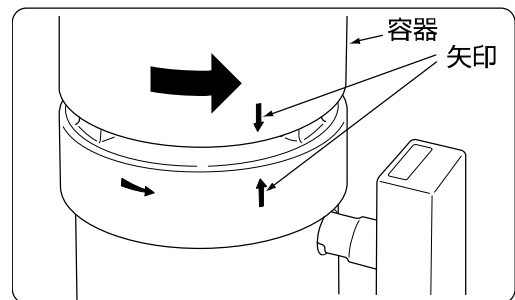


2. 容器をモーター取付台に押し付けながら、上から見て反時計方向に回し、モーター取付台の矢印と、容器の矢印を合わせてください

お願い

必ず2つの矢印が合うまでいっぱい回してください。

矢印が合わないとセンサーが反応せず、正常に作動しません。



平刃(または粗い波刃)カッターAssyの分解とカッターの付け替え方法

平刃（または粗い波刃）カッターAssyの分解方法

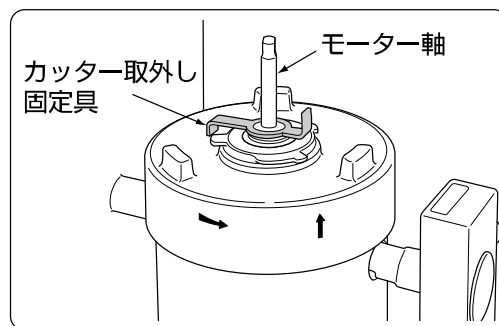
1. 本機専用電源を必ず『OFF（切）』にしてください
電源プラグをお使いの場合は、電源プラグを抜いてください。

2. 本機から容器を取り外してください

「容器の取り外し方法」（30ページ）を参照してください。


3. モーター軸にカッター取外し固定具をはめ込んでください

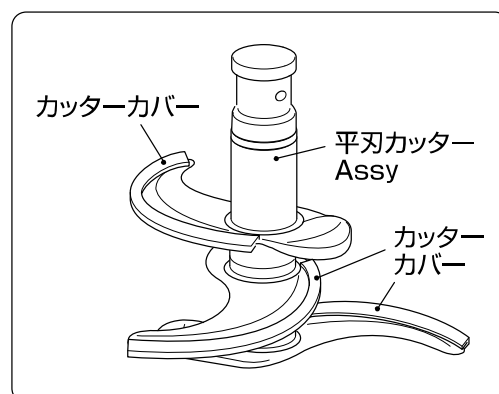
図を参照してカッター取外し固定具の向きを合わせてください。



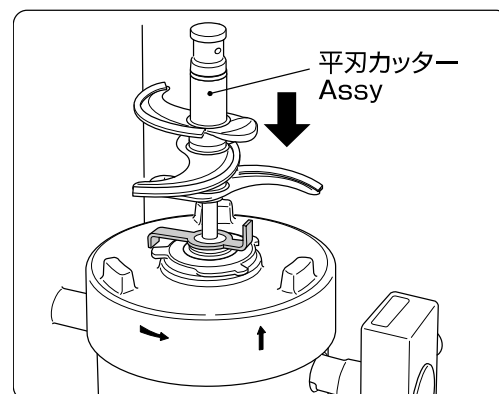
4. 平刃（または粗い波刃）カッターの刃先に、カッターカバーを取り付けてください

警告

 平刃（または粗い波刃）カッターAssyの刃は鋭利ですから、直接刃の部分に触れないこと
誤って平刃（または粗い波刃）カッターAssyの刃に触れた場合、ケガの原因になります。



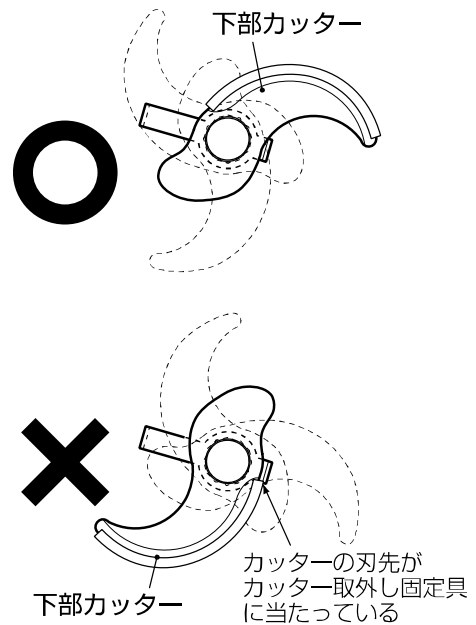
5. カッター取外し固定具をセットしたモーター軸に、平刃（または粗い波刃）カッターAssyを差し込んでください



お願い

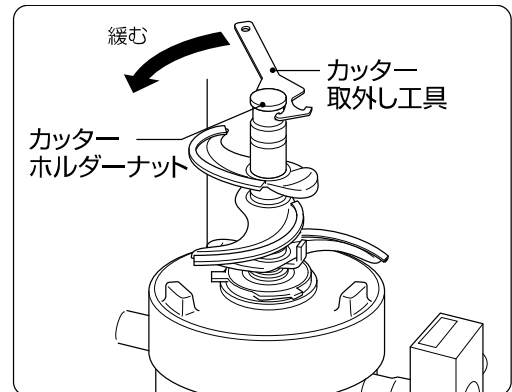
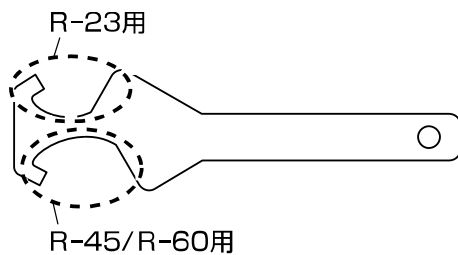
平刃（または粗い波刃）カッターAssyを左右に少し回してみ、下部カッターの刃先がカッター取外し固定具に当たらないか確認してください。刃先が当たる場合は、向きを変えて差し込みなおしてください。

刃先が当たる状態で、分解作業をおこなうと刃先を損傷します。



6. カッターホルダーナットを緩めてください

カッターホルダーナットの穴部に、カッター取外し棒のかぎ爪状になっている部分を差し込んで、反時計方向に回し、カッターホルダーナットを緩めてください。



お願い

カッターAssyは、日常の分解洗浄を怠ったり、長期間放置しておいたりした場合は、カッターホルダーナットが固着して緩まなくなることがあります。

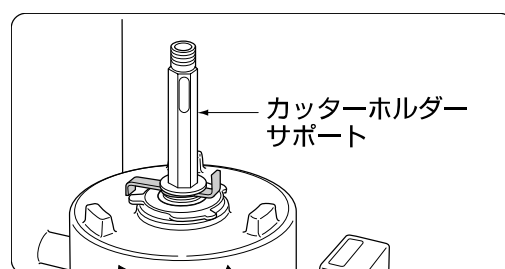
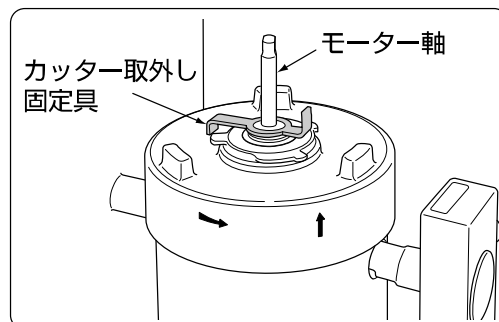
使用後は、必ずカッターAssyを分解洗浄してください。

7. カッターホルダーサポートより、カッターホルダーナット、ステンレスリングA、ステンレスリングB、カッターを取り外してください



平刃(または粗い波刃)カッターAssyの組み立て方法

1. 本機から容器を取り外してください
2. モーター軸に、カッター取外し固定具を取り付けてください
3. カッターの刃先に、カッターカバーを取り付けてください
4. モーター軸に、カッターホルダーサポートを差し込んでください



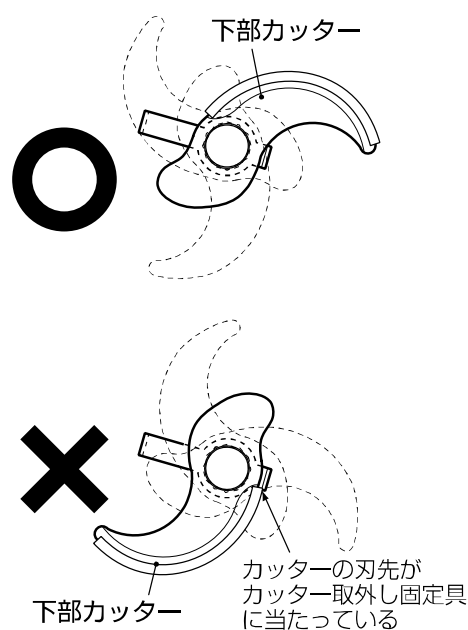
5. カッターホルダーサポートに、平刃(または粗い波刃)カッター、ステンレスリングB、ステンレスリングAをはめ込んでください

お願い

平刃(または粗い波刃)カッターは、裏表を間違わないようにしてください。
平刃(または粗い波刃)カッターの裏表を間違えますと、調理ができません。
機械の故障の原因にもなります。

下部カッターの背側がカッター取外し固定具に当たるように取り付けてください。
刃先が当たる場合は、向きを変えて取り付けなおしてください。

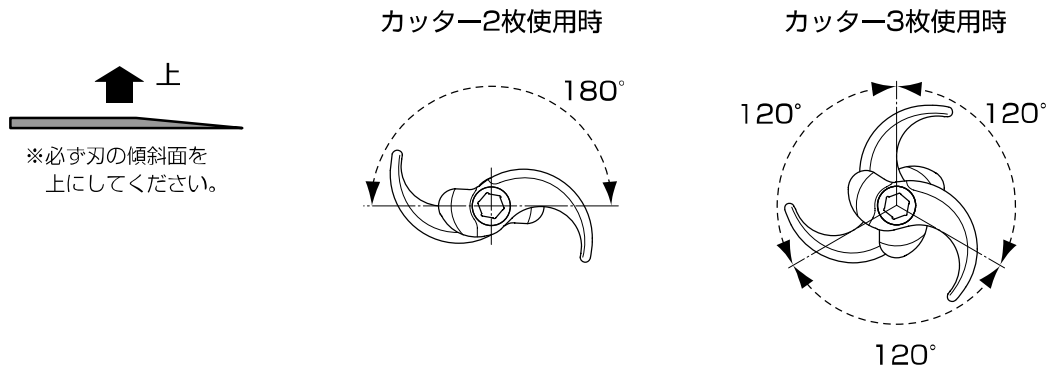
刃先が当たる状態で、分解作業をおこなうと刃先を損傷します。



お願い

平刃（または粗い波刃）カッターは、必ずバランスがとれるように等角度に取り付けてください。2枚刃の場合は180°に、3枚刃の場合は120°の等角度にセットしてください。

平刃（または粗い波刃）カッターを等角度に取り付けないと、機械の故障の原因になります。



各平刃（または粗い波刃）カッターの間隔は、ステンレスリングA、またはステンレスリングB位置を変えて調整してください。

平刃（または粗い波刃）カッターを3枚使用時の場合、ステンレスリングA、またはステンレスリングBで、各平刃（または粗い波刃）カッターが等間隔になるように調整してください。

各平刃（または粗い波刃）カッターが等間隔になっていないと、調理ムラの原因になります。

「各平刃（または粗い波刃）カッターの間隔の調整」（38ページ）を参照してください。

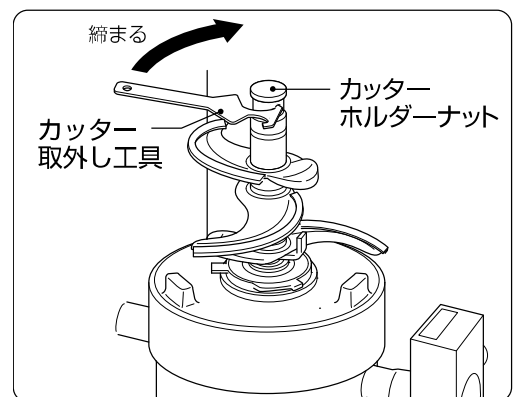
6. カッターホルダーナットを取り付けて、しっかり締め付けてください

⚠ 注意



カッターホルダーサポートのネジ部に付着物があると、カッターホルダーナットが完全に締まらなくなるため、使用後は、きれいに洗浄すること
カッターホルダーナットが完全に締まっていない状態で、使用されますと調理中にカッターホルダーナットが外れて危険です。

カッターホルダーナットの穴部に、カッター取外工具の鍵爪状になっている部分を差し込んで、時計方向に回し、カッターホルダーナットを締めつけてください。



平刃（または粗い波刃）カッターの2枚、または3枚の使い分け

本機は、調理内容により平刃（または粗い波刃）カッターを2枚、または3枚に使い分けて使用することができます。

お願い

各平刃（または粗い波刃）カッターの間に十分な間隔を取ってください。

最大処理量目安を参考のうえ作業の準備をしてください。

最大処理量目安			
	R-23	R-45	R-60
粗刻み	10kg	18kg	24kg
粘度の高い流動食	11kg	24kg	28kg
麺やパン生地をこねる	7kg	12kg	16kg
砕く	5kg	9kg	12kg

平刃（または粗い波刃）カッターを2枚使用しての調理

最大処理量の半分以下の少量の調理に適しています。

液体の食材を調理するには向きませんので、液体の食材を調理する場合は、平刃（または粗い波刃）カッターを3枚使用してください。

メモ

通常、調理は低速調理スイッチで十分調理できます。

高速調理スイッチは、低速で調理終了の十数秒前に、調理の仕上げとしてお使いください。

平刃（または粗い波刃）カッターを3枚使用しての調理

大量（最大処理能力量まで）の食材の調理に適しています。

液体の食材を調理する場合は、平刃（または粗い波刃）カッターを3枚使用してください。

注意



液体の食材は、必ず低速のみで調理すること
高速で調理しますと、容器と容器蓋の間から食材が漏れて、周囲を濡らす原因になります。

お願い

液体の食材を調理する場合は、必ず低速で調理してください。

高速で調理しますと、最大の効果が得られません。

容器と容器蓋の間からの食材漏れの原因になります。

各平刃（または粗い波刃）カッターの間隔の調整

警告



平刃（または粗い波刃）カッターAssyの刃は鋭利ですから、直接刃の部分に触れないこと
誤って平刃（または粗い波刃）カッターAssyの刃に触れた場合、ケガの原因になります。

各平刃（または粗い波刃）の間隔は、ステンスリングA、またはステンスリングBで調整してください

お願い

平刃（または粗い波刃）カッターを3枚使用時の場合、ステンスリングA、またはステンスリングBで、各平刃（または粗い波刃）カッターが等間隔になるように調整してください。

各平刃（または粗い波刃）カッターが等間隔になっていないと、調理ムラの原因になります。

「配置1」（粗く切り刻む）の場合の刃とリングの組み付けかた

平刃（または粗い波刃）カッターを2枚使用時、3枚使用時ともに、カッターホルダーサポートと下の平刃（または粗い波刃）カッターとの間にステンスリングB（R-23の高さ10mm、R-45の高さ14mm、R-60の高さ14mm）を挟みます。

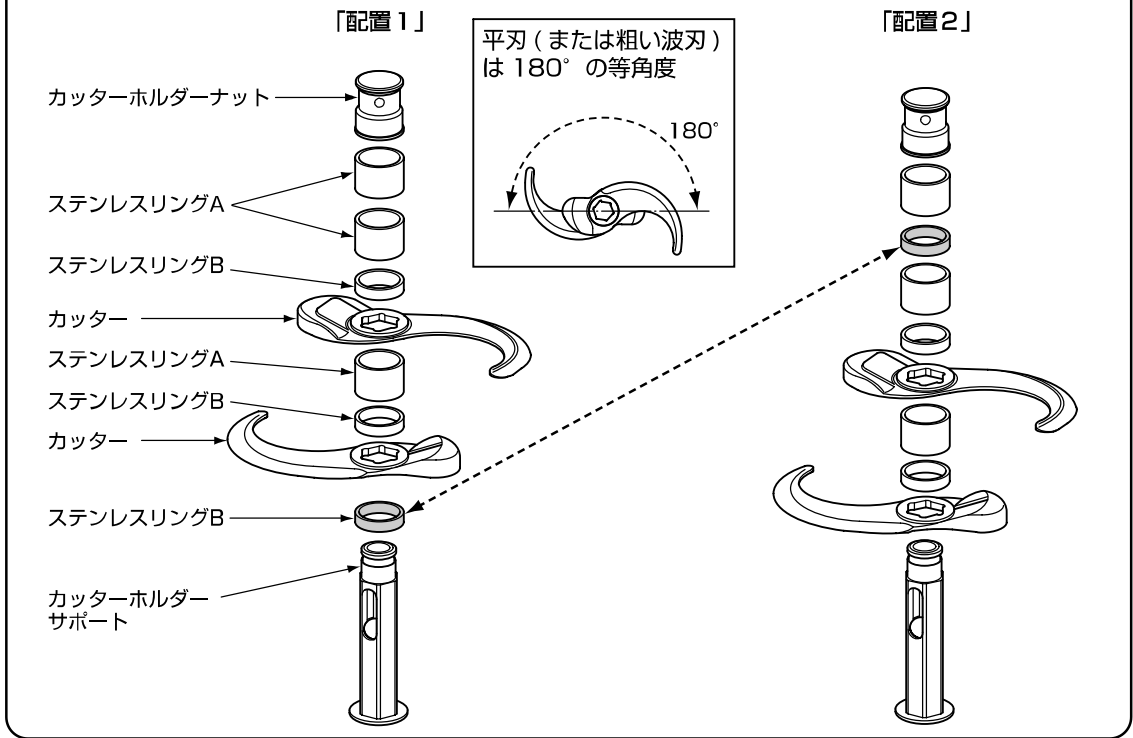
「平刃（または粗い波刃）カッター2枚使用時の配置の参考例」（39ページ）を参照してください。
この間隔は、あくまでも参考ですので、食材の種類、量、体積に応じて調整してください。

「配置2」（細かく切り刻む、液体の調理、砕く、こねる）の場合の刃とリングの組み付けかた

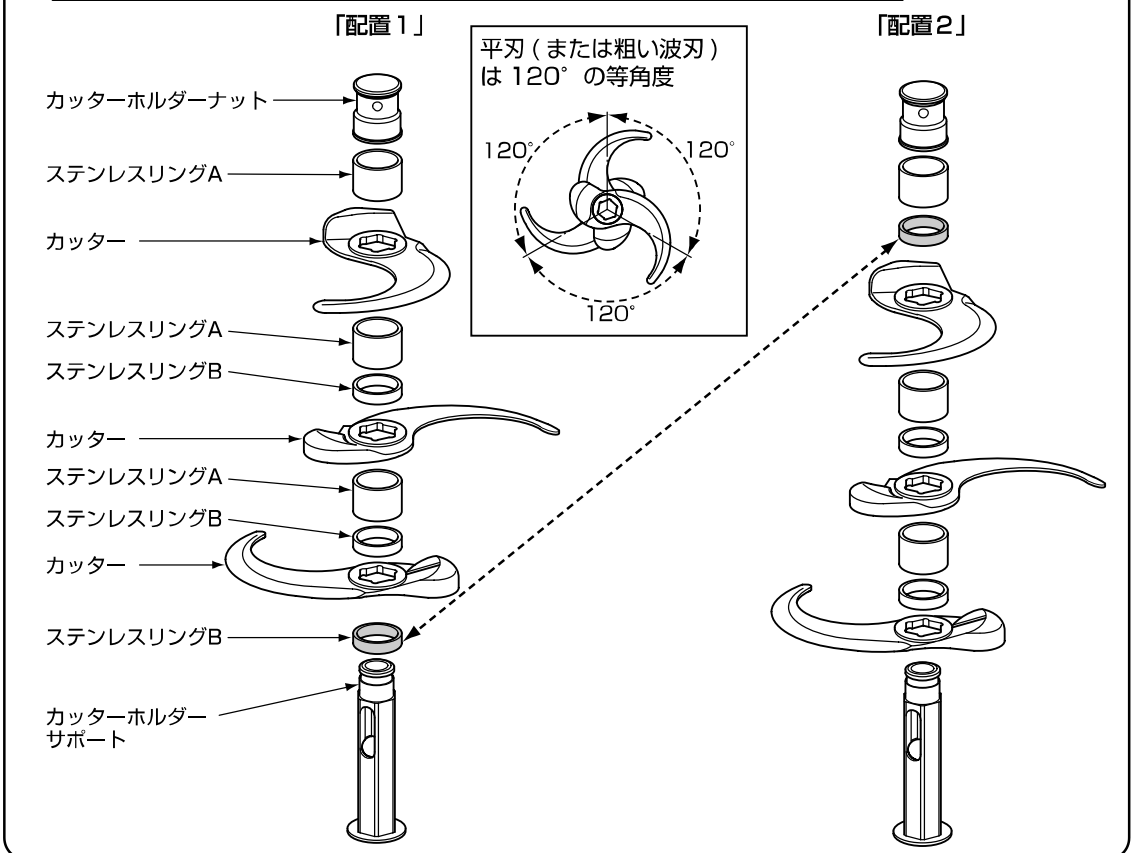
平刃（または粗い波刃）カッターを2枚使用、3枚使用ともに、カッターホルダーサポートと下のカッターとの間にステンスリングBは挟まないでください。

「平刃（または粗い波刃）カッター3枚使用時の配置の参考例」（39ページ）を参照してください。
この間隔は、あくまでも参考ですので、食材の種類、量、体積に応じて調整してください。

平刃（または粗い波刃）カッター2枚使用時の配置の参考例



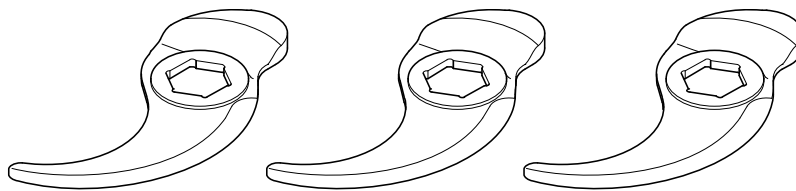
平刃（または粗い波刃）カッター3枚使用時の配置の参考例



各カッターの主な特長と用途

平刃カッター

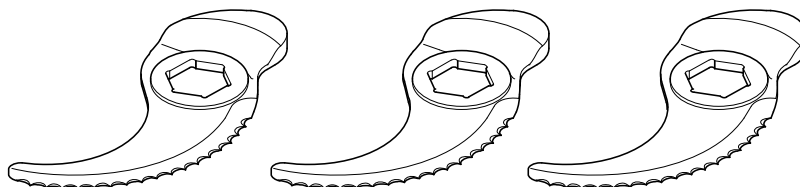
平刃カッターは肉、魚、野菜などあらゆる食材の粉碎、切り刻みに最適です。



粗い波刃カッター

主に堅いものの粉碎をはじめ、製菓製パン用の生地づくりに適しています。

エビ、貝類などの甲殻類、冷凍された食材、ナッツ類など主に堅いものの粉碎をはじめ、砂糖のアイシング（パウダー状にする）の下処理にも適しています。

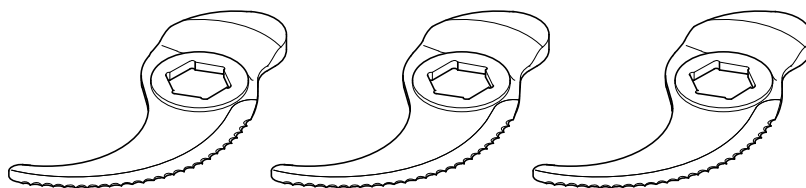


細かい波刃カッター（オプション）

パセリのような葉もの、海藻類などのみじん切りなどに適しています。

繊維の強い肉や魚をブロックから挽肉、すり身、ペースト状まで、必要に応じた状態に下処理するのにも適しています。

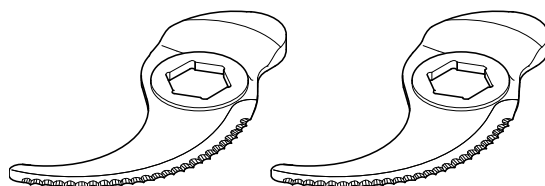
野菜や軽い葉物は切り刻みからペースト状まで、必要に応じた状態に調理できます。



ギザ刃カッター（オプション）

オプションのブリスサーキットに付属しています。

ブリスサーキットのギザ刃カッターAssylは、病院や福祉施設などで供給される流動食を調理するのに便利です。



平刃カッターの研ぎかた

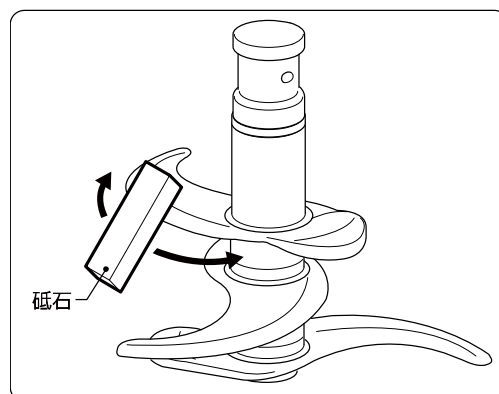
平刃カッターは、機械を使用するたびに研ぐのが望ましく、研ぐときは付属の砥石で軽く研いください。

粗い波刃カッターと、オプションの細かい波刃カッターは、研ぐことはできません。

⚠ 警告



平刃（または粗い波刃）カッターAssyの刃は鋭利ですから、直接刃の部分に触れないこと
誤って平刃（または粗い波刃）カッターAssyの刃に触れた場合、ケガの原因になります。

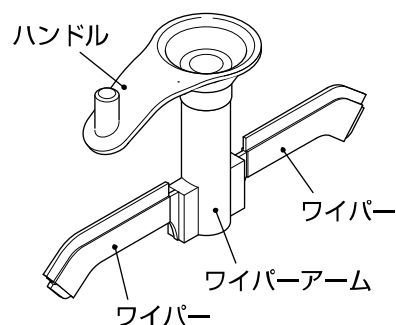


蓋用ワイパー

蓋用ワイパーは、容器蓋に装着して使用します。

調理中に、蓋用ワイパーのハンドルを回すことにより、容器蓋の内側に付着した食材を掻き落とすことで、食材を均一に調理します。

容器蓋は、透明になっていますので、調理中に食材の付着状態を見ながら蓋用ワイパーのハンドルを回してください。

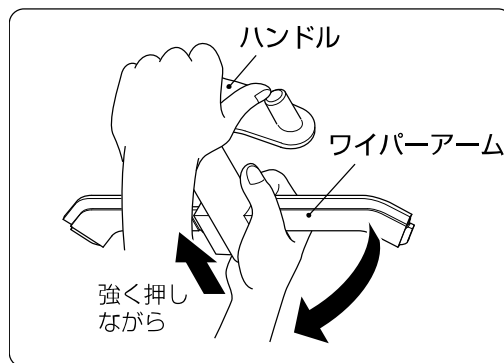


蓋用ワイパーの容器蓋への取り付け方法

1. 本機専用電源をOFF（切）にしてください
2. 容器蓋を開けてください
3. 蓋用ワイパーのハンドルから、ワイパーアームを取り外してください

蓋用ワイパーのハンドルをしっかり持ち、もう片方の手でワイパーアームを持ってハンドル側に強く押ししながら、反時計方向に45°回すと、ロックが外れます。

ハンドルから、ワイパーアームを抜き取ってください。

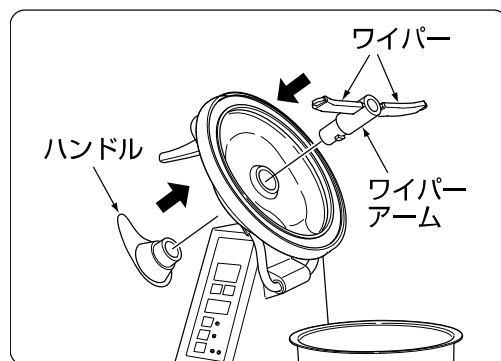


4. 容器蓋に蓋用ワイパーを取り付けてください

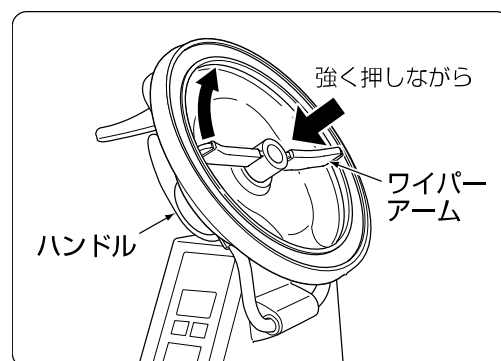
容器蓋の外側から容器蓋ファンネルに蓋用ワイパーのハンドルを差し込み、容器蓋の内側からハンドルの穴の形状に合うように、ワイパーアームの軸部分を差し込んでください。

お願い

容器蓋に蓋用ワイパーを取り付ける前に、ワイパーアームにワイパー（2個）が取り付けられていることを確認してください。



蓋用ワイパーのハンドルをしっかり持ち、もう片方の手でワイパーアームを持ってハンドル側に強く押ししながら、時計方向に45°回して、確実にロックしてください。



⚠ 注意



容器蓋に、蓋用ワイパーを取り付けた後は、蓋用ワイパーが外れないことを確認すること
蓋用ワイパーの取り付けが不十分の場合、調理中にワイパーアームが容器内に落ちる恐れがあり、異物混入の原因になります。

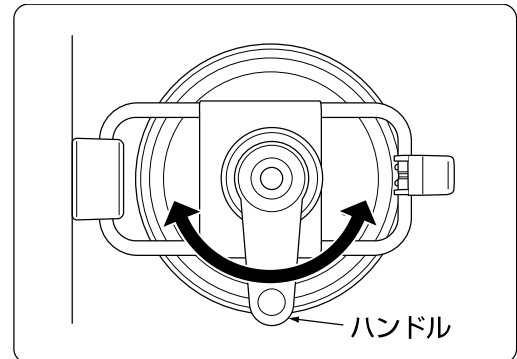
お願い

蓋用ワイパーのハンドルを回して、ワイパーアームが正常に回ることを確認してください。
蓋用ワイパーは、時計方向、または反時計方向、どちらにも回ります。

容器蓋に取り付けた蓋用ワイパーの使用方法

調理中に容器蓋に付着した食材を掻き落としてください

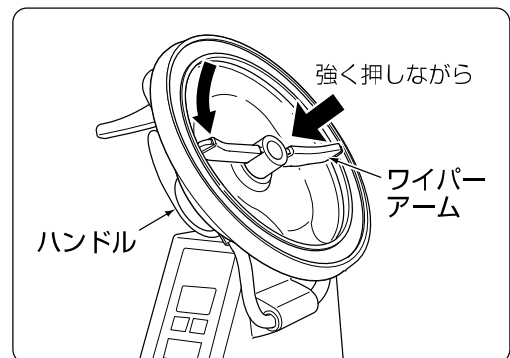
調理中、必要に応じて蓋用ワイパーのハンドルを右、または左に回して、容器蓋に付着した食材を掻き落としてください。



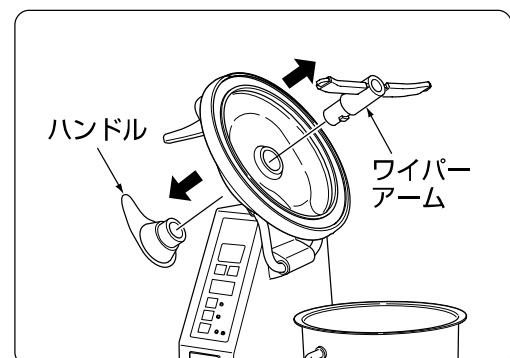
蓋用ワイパーの容器蓋からの取り外し方法

1. 本機専用電源をOFF（切）にしてください
2. 容器蓋を開けてください
3. 容器蓋に取り付けている蓋用ワイパーをハンドルと、ワイパーアームに分離してください

蓋用ワイパーのハンドルをしっかり持ち、もう片方の手でワイパーアームを持ってハンドル側に強く押ししながら、反時計方向に45°回すと、ロックが外れます。



容器蓋からハンドルと、ワイパーアームを取り外してください。



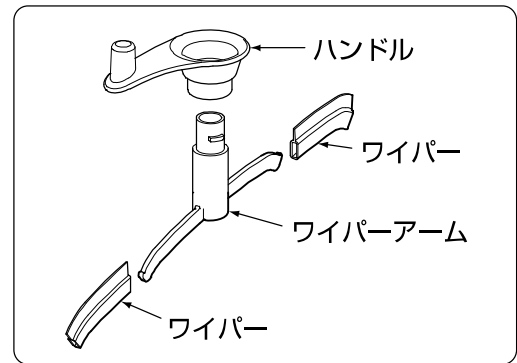
お願い

蓋用ワイパーを使用した後、蓋用ワイパーを洗浄する場合は、容器蓋から取り外してから各部品を洗浄してください。

ワイパーアームを洗浄するときは、ワイパー（2個）を取り外して、ワイパーアームとワイパーを洗浄してください。

ワイパーは、ワイパーアームから引き抜いて取り外してください。

蓋用ワイパーを容器蓋に取り付けるときは、必ずワイパーアームにワイパーを取り付けてください。



ブリクサーキット（オプション）

ブリクサーキットのギザ刃カッターAssyは、病院や福祉施設などで供給される流動食を調理するのに便利です。

容器内スクレーパーは、調理中にハンドルを回すことにより、容器蓋や容器内側面に付着した食材を掻き落とすことで、食材を均一に調理することができます。

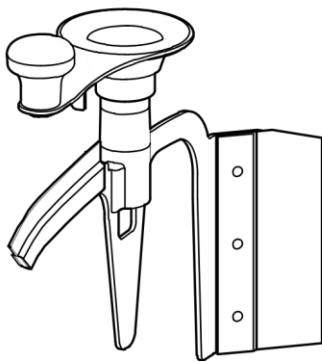
容器蓋は、透明になっていますので、調理中に食材の付着状態を見ながら容器内スクレーパーのハンドルを回してください。

お願い

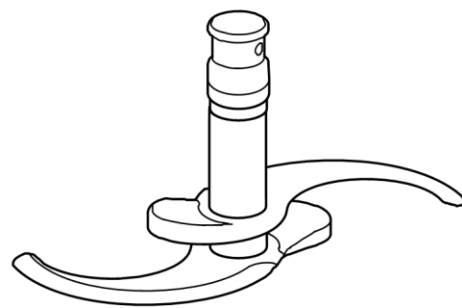
ブリクサーキットを使用する場合、必ずギザ刃カッターAssyを使用してください。

標準の平刃カッターAssyを使用されますと、容器内スクレーパーとカッターが接触し破損します。

容器内スクレーパー



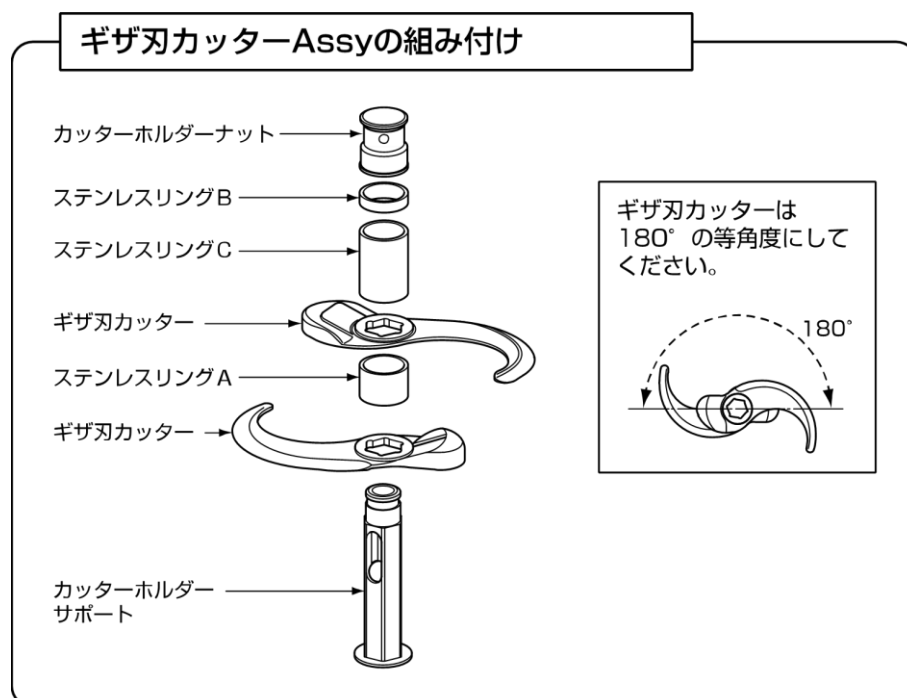
ギザ刃カッターAssy



ギザ刃カッターAssyの組み付け

ブリクサーキットのギザ刃カッターAssyは、標準付属のカッターAssyとステンレスリングなどの構成が異なるため、組み付けが変わります。

「平刃(または粗い波刃)カッターAssyの分解とカッターの付け替え方法」(33ページ)を参照して、カッターAssyを下記のとおり組み付けてください



ブリクサーキットの取り付け方法

1. 本機専用電源をOFF（切）にしてください
2. 容器蓋を開けてください
3. 容器内にギザ刃カッター-Assyを取り付けてください

容器内に平刃カッター-Assyが取り付けられている場合は、平刃カッター-Assyを取り出してから、ギザ刃カッター-Assyを取り付けてください。

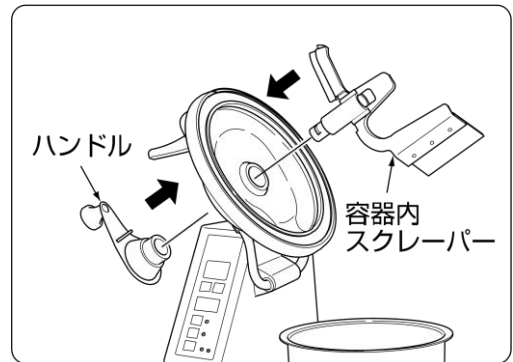


4. 容器蓋に容器内スクレーパーを取り付けてください

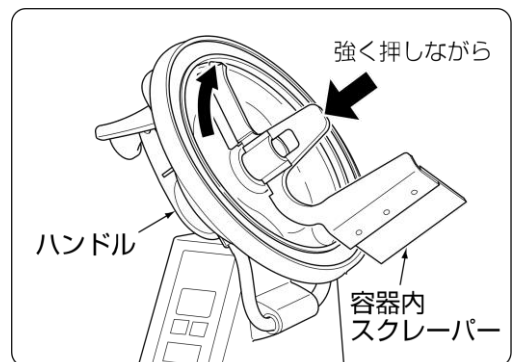
容器蓋の外側から容器蓋ファンネルに容器内スクレーパーのハンドルを差し込み、容器蓋の内側からハンドルの穴の形状に合うように、スクレーパーアームの軸部分を差し込んでください。

お願い

容器蓋に容器内スクレーパーを取り付ける前に、スクレーパーアームにワイパーが取り付けられていることを確認してください。



容器内スクレーパーのハンドルをしっかり持ち、もう片方の手でスクレーパーアームを持ってハンドル側に強く押しながら、時計方向に45°回して、確実にロックしてください。



△ 注意



容器蓋に、容器内スクレーパーを取り付けた後は、容器内スクレーパーが外れないことを確認すること
容器内スクレーパーの取り付けが不十分な場合、調理中にスクレーパーアームが容器内に落ちる恐れがあり、異物混入の原因になります。

お願い

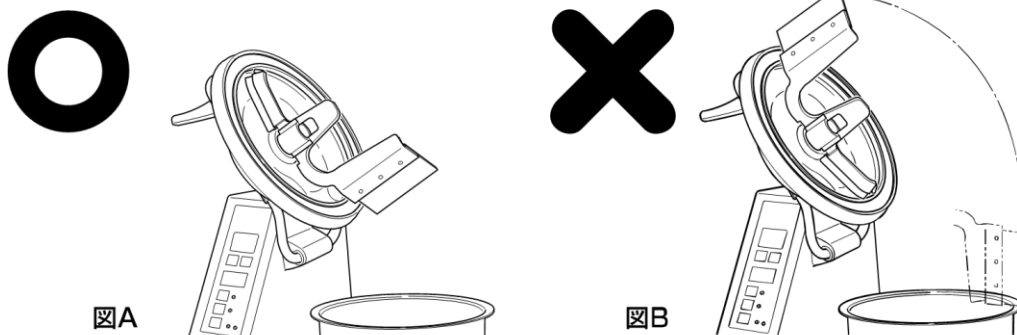
容器内スクレーパーのハンドルを反時計方向に回して、スクレーパーアームが正常に回ることを確認してください。

容器内スクレーパーのハンドルは、必ず反時計方向に回してください。

お願い

容器蓋に容器内スクレーパーを取り付けた状態で容器蓋を開閉する場合、図Aのようにスクレーパーを向けてください。

図Bの向きにスクレーパーが向いている場合は、容器蓋を開閉することができません。



容器蓋に取り付けた容器内スクレーパーの使用方法

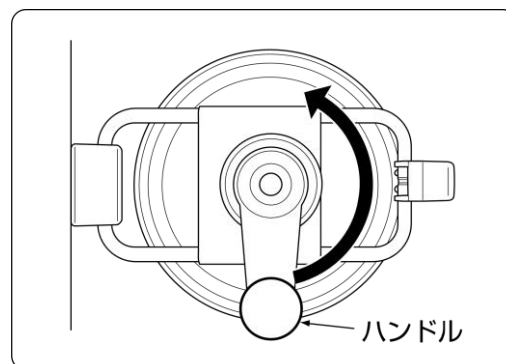
調理中に容器蓋や容器内側面に付着した食材を掻き落としてください

調理中、必要に応じて容器内スクレーパーのハンドルを反時計方向に回して、容器蓋や容器内側面に付着した食材を掻き落としてください。

お願い

容器内スクレーパーのハンドルは必ず反時計方向に回してください。

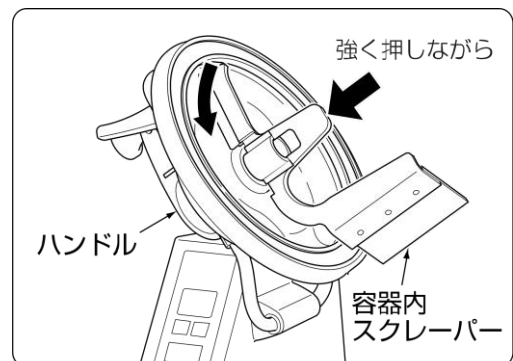
容器内スクレーパーを時計方向に回すと、スクレーパーが破損する原因になります。



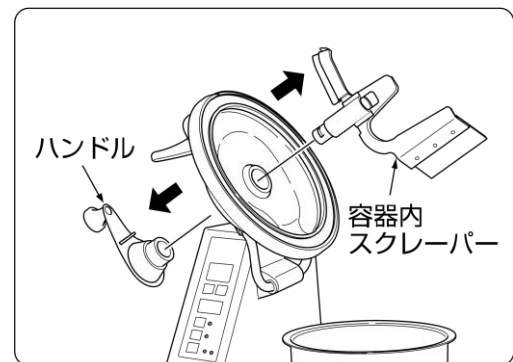
ブリクサーキットの取り外し方法

1. 本機専用電源をOFF（切）にしてください
2. 容器蓋を開けてください
3. 容器蓋に取り付けている容器内スクレーパーをハンドルと、スクレーパーアームに分離してください

容器内スクレーパーのハンドルをしっかり持ち、もう片方の手でスクレーパーアームを持ってハンドル側に強く押しながら、反時計方向に45°回すと、ロックが外れます。



容器蓋からハンドルと、スクレーパーアームを取り外してください。



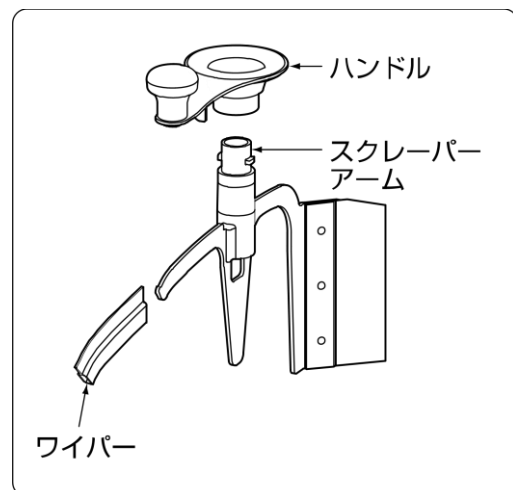
お願い

容器内スクレーパーを使用した後、容器内スクレーパーを洗浄する場合は、容器蓋から取り外してから各部品を洗浄してください。

スクレーパーアームを洗浄するときは、ワイパーを取り外して、スクレーパーアームとワイパーを洗浄してください。

ワイパーは、スクレーパーアームから引き抜いて取り外してください。

容器内スクレーパーを容器蓋に取り付けるときは、必ずスクレーパーアームにワイパーを取り付けてください。



4. ギザ刃カッターAssyの取り外しは、標準付属の平刃（または粗い波刃）カッターAssyと同様におこなってください

ギザ刃カッターAssyを分解する場合は、「平刃(または粗い波刃)カッターAssyの分解とカッターの付け替え方法」(33ページ)を参照して、カッターAssyを分解してください。

ギザ刃カッターAssyを洗浄する場合は、標準付属の平刃(または粗い波刃)カッターAssyと同様の方法で洗浄してください。

容器底シールパッキンの交換

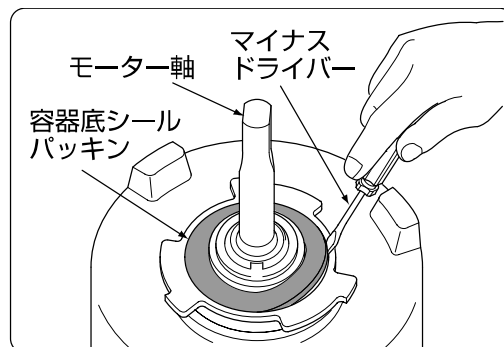
機械の使用中に容器底とモーター取付台の間から液漏れが生じたときは、容器底シールパッキンおよびモーター軸部のオイルシールが損傷している可能性があります。

付属の新しい容器底シールパッキン、オイルシール（2個）に交換してください。

容器底シールパッキンの交換方法

1. 容器底シールパッキンを取り外してください

容器底シールパッキンの縁を小さなマイナスドライバーなどを使用して持ち上げ、取り外してください。



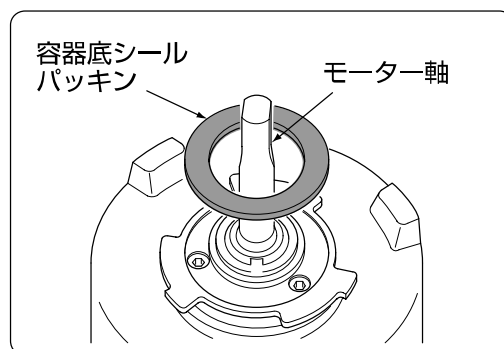
2. 新しい容器底シールパッキンを取り付けてください

容器底シールパッキンの平らな面を下にして取り付けてください。

お願い

容器底シールパッキンに傷を付けないでください。

容器底シールパッキンが損傷しますと、容器底からの液漏れの原因と、モーター軸部分から内部へ調理液が流れ込み、故障の原因になります。



オイルシールの交換方法

内部にオイルシールが1個あります。

オイルシールの交換方法につきましては、付属の部品に同梱しています「オイルシールの交換方法」の説明書をご参照のうえ交換してください。

お手入れ

いつも安全で清潔にご使用いただくためと、機械を長持ちさせるために、次の場合、必ず「お手入れ」をおこなってください。

初めて機械を使用する場合。

調理後、速やかに。

繰り返し使用する場合、30分おき。

⚠ 警告



本体に直接水をかけないこと
漏電、ショート、感電の原因になります。

⚠ 注意



お手入れのときは、必ず停止スイッチを押して機械を止め、本機専用電源を「OFF (切)」にすること
誤って操作スイッチに触れた場合、平刃（または粗い波刃）カッターAssy が回転してケガの原因になります。
漏電、ショート、感電の原因になります。

お願い

容器蓋用キャップ、容器蓋、容器蓋ファンネル、容器蓋ガイド、蓋パッキン、容器底シールパッキン、平刃（または粗い波刃）カッターAssyの樹脂リング、蓋用ワイパー(ハンドル、ワイパーアーム、ワイパー)、オプションのブリクサーキット(ハンドル、スクレーパーアーム、スクレーパー、ワイパー)は、食器洗浄機などは、使用せずに85℃以下のお湯で洗浄してください。

高温洗浄すると変形したり、変色したりする恐れがあります。

次亜塩素酸ソーダを含む除菌剤や電解酸性水、オゾン水は、使用しないでください。

部品の劣化、変色の原因になります。

清掃をするとき、クレンザー、酸類、アルカリ性洗剤、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。

傷がついたり、破損したりする原因になります。

気泡性、強力な浸食性、有毒性のある洗剤は絶対に使用しないでください。

やむを得ず、塩素系の洗剤や電解酸性水などを使用して洗浄をおこなう場合は、漬け置きしないで洗浄してください。

洗浄後は、十分すすいでから速やかに水気を切り、完全に乾燥させてください。

塩素系の洗剤や電解酸性水、オゾン水などに、漬け置きますと、錆および腐食の原因になります。

除菌洗浄をおこなう際の洗剤は、無泡性および低発泡性で、厨房設備および調理器具用のものを使用し、入れすぎないようにしてください。

濃度が濃すぎると金属、プラスチック、樹脂の部品を損傷します。

除菌洗剤、アルコール除菌剤の使用については、各々の定める使用方法および、使用上の注意事項に従ってください。

お手入れ

1. 本機専用電源を「OFF（切）」にしてください

2. 本体から、容器蓋を取り外してください

容器蓋サポートから容器蓋ファンネルを取り外し、容器蓋と容器蓋ガイドを取り外してください。
容器蓋から蓋パッキンを取り外してください。

「容器蓋の分解方法」（28ページ）を参照してください。

3. 容器内から、平刃（または粗い波刃）カッターAssyを取り出してください

4. 本体から、容器を取り外してください

「容器の取り外し方法」（30ページ）を参照してください。

5. 水、または温水を流しながら、容器、容器蓋、容器蓋ガイド、容器蓋ファンネル、容器蓋用キャップ、蓋パッキン、平刃（または粗い波刃）カッターAssyをすすぎ洗いして、付着した食材を洗い流してください

6. 平刃（または粗い波刃）カッターAssyを分解してください

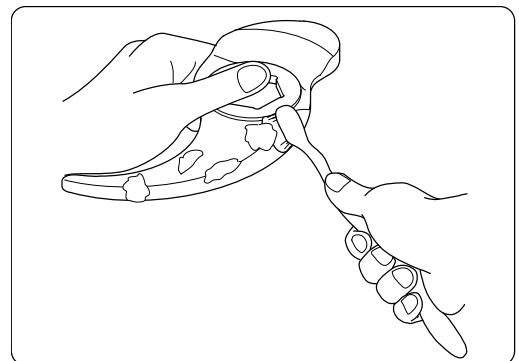
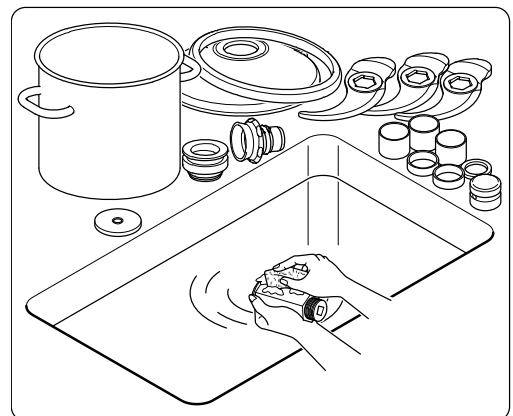
「平刃（または粗い波刃）カッターAssyの分解方法」（33ページ）を参照してください。

7. コンテナやシンクにぬるま湯を入れ、定められた使用濃度の分量の除菌洗剤を入れて溶かしてください

8. 分解した各部品は、除菌洗剤を溶かしたぬるま湯の中で、布かスポンジを用いてきれいに洗ってください

硬いタワシなどでこすると、傷が付きますので、布かスポンジで洗ってください。

平刃（または粗い波刃）カッターAssyの各部品は、お手持ちのブラシなどを使用してきれいに洗浄してください。



警告



平刃（または粗い波刃）カッターAssyの刃は鋭利ですから、直接刃の部分に触れないこと

誤って平刃（または粗い波刃）カッターAssyの刃に触れた場合、ケガの原因になります。

△ 注意



お手入れのときは、平刃（または粗い波刃）カッターを洗剤の入ったコンテナやシンクなどに、浸けたままにしておかないこと
泡で平刃（または粗い波刃）カッターの刃が見えなくなり、誤って泡で平刃（または粗い波刃）カッターの刃に触れると、ケガの原因になります。



平刃（または粗い波刃）カッターAssy、容器、容器蓋、容器蓋パッキン、容器蓋用キャップ、容器蓋ガイド、容器蓋ファンネルなどは使用後、必ず除菌洗浄剤で洗浄、清掃すること
除菌洗浄しないと、付着した食材が腐敗し、雑菌が繁殖して健康障害の原因になります。

お願い

平刃（または粗い波刃）カッターAssyの各部品および容器の洗浄は速やかにおこない、洗浄液や水、湯に10分以上漬けたままにしないでください。

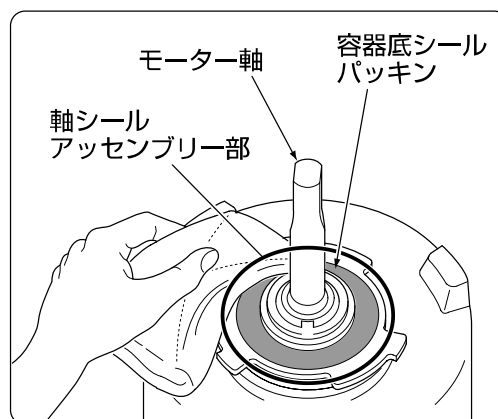
漬け置きをしますと、金属部分が錆びる恐れがあります。

9. 除菌洗浄した各部品は、きれいな水、または温水で、洗剤成分が残らないように、十分すすぎ洗いをしてください
10. 各部品は、速やかに除菌済みのきれいな乾いた布などで水分を拭き取り、十分空気乾燥させてください
11. 乾燥した各部品にアルコール除菌剤をスプレーしてください
12. モーター軸部と、根元の軸シールアッセンブリ部は、除菌洗浄剤を入れて溶かしたぬるま湯で布巾を絞って、付着した食材などをきれいに拭き取ってください

お願い

清掃の際、容器底シールパッキンに傷を付けないでください。

容器底シールパッキンが損傷しますと、容器底からの液漏れの原因と、モーター軸内部へ調理液が流れ込み、故障の原因になります。



13. モーター軸部と、根元の軸シールアッセンブリ部、本体外装は、飲料用のきれいな水で絞った布で洗剤成分をきれいに拭き取ってください
14. モーター軸部と、根元の軸シールアッセンブリ部、本体外装を空気乾燥させてください
15. モーター軸部と、根元の軸シールアッセンブリ部、本体外装は、アルコール除菌剤をしみ込ませた布などで拭いて除菌してください

16. 平刃（または粗い波刃）カッターAssyを組み立ててください

「平刃（または粗い波刃）カッターAssyの組み立て方法」（35ページ）を参照してください。
組立てた平刃（または粗い波刃）カッターAssyは、モーター軸から取り外してください。

17. 本機に、容器を取り付けてください

「容器の取り付け方法」（32ページ）を参照してください。

18. 本機に、容器蓋を取り付けてください

「容器蓋の組み立て方法」（29ページ）を参照してください。


お願い

容器蓋は、蓋パッキン保護のため次回使用時まで開けておいてください。




故障の診断と手当

故障かなと思ったら

故障かなと思われ修理を依頼する前に、下記の項目を確認してください。

症状が改善されないときや「手当」の欄に「お買上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、本機の停止スイッチ()を押して機械を止め、本機専用電源も『OFF (切)』にして、早急にお買上げ店へ連絡してください。


ご連絡の場合は、本機の型式名、機番、お買上げ日、故障状況（できるだけ詳しく）をお知らせください。

状態	確認	手当
低速調理スイッチ()または高速調理スイッチ()、パルススイッチ()を押しても動作しない。	本機専用電源が「OFF (切)」になっていませんか？	本機専用電源を「ON (入)」してください。
	タイマー表示ディスプレイにメッセージが表示されていませんか？	タイマー表示ディスプレイにメッセージが表示されている場合は、「タイマー表示ディスプレイのメッセージについて」(56ページ)を参照してください。
	機械が待機モードになっていませんか？	待機モードを解除してください。待機モードの解除のしかたについては、「待機モード」(27ページ)を参照してください。
	停電ではありませんか？	通電するのを待ってください。
容器蓋を閉めることができない。	容器蓋が正しい向きに取り付けられていない。	容器蓋が正しい向きに取り付けられているか確認し、向きが間違っている場合は、正しい向きに直してください。
	容器が、垂直の位置になっていない。	容器蓋を開けて、容器を垂直の位置にしてください。 容器を垂直にしましたら、ブレーキレバーでしっかりと固定してください。
調理中に機械が止まった。	タイマー表示ディスプレイにメッセージが表示されていませんか？	タイマー表示ディスプレイにメッセージが表示されている場合は、「タイマー表示ディスプレイのメッセージについて」(56ページ)を参照してください。
本体から異常音が発生する。	丈夫な所に設定していますか？	丈夫な所に設定してください。
	据え付けが悪く、ガタついていませんか？	水平で平らな場所に据え付けてください。
	本機に何か触れた状態になっていませんか？	接触しているものを取り除いてください。
	容器蓋に蓋パッキンは、取り付けられていますか？	容器蓋に蓋パッキンをしっかり取り付けてください。

状態	確認	手当
<p>モーターから異常音が発生する。 回転振動が大きい。</p>	<p>機械の故障の可能性があります。</p>	<p>お買上げ店へ連絡してください。</p>
<p>漏電遮断器が切れる。</p>	<p>漏電遮断器のレバーの位置が「OFF (切)」になっていませんか？</p>	<p>漏電遮断器が「OFF (切)」に作動した場合には、お買上げ店へ連絡してください。 レバーが「OFF (切)」になっていると漏電している可能性があります。 無理にレバーを「ON (入)」にすると、感電や火災の原因になります。</p>
<p>電源コードやプラグが異常に熱くなる。</p>	<p>—</p>	<p>お買上げ店へ連絡してください。</p>
<p>電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする。</p>	<p>—</p>	<p>お買上げ店へ連絡してください。</p>
<p>モーターの回転が不規則であったり、止まったり、遅かったりする。</p>	<p>—</p>	<p>お買上げ店へ連絡してください。</p>







タイマー表示ディスプレイのメッセージについて

タイマー表示ディスプレイにメッセージが、表示されている場合は、下記の項目を確認してください。

症状が改善されないときや「手当」の欄に「お買上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、停止スイッチ()を押して機械を止め、本機専用電源を「OFF (切)」にして、早急にお買上げ店へ連絡してください。

ご連絡の際は、本機の型式名、機番お買上げ日、故障状況（できるだけ詳しく）をお知らせください。

メッセージ	原因	手当
CloSE Lid	—	容器蓋を閉めてから、停止スイッチを押してください。
oPEn And CloSE Lid	—	一度、容器蓋を開けて、閉めてから、停止スイッチを押してください。
PrESS bPA	本機専用電源を「ON (入)」した後、停止スイッチを押さずに、調理スイッチを押した。	タイマー表示ディスプレイに「0.00」と表示されてから、停止スイッチを押してください。そのあと、調理スイッチを押してください。
	本機専用電源を「ON (入)」の状態、2時間以上機械の何も操作をせず、調理スイッチを押した。	タイマー表示ディスプレイに「0.00」と表示されていることを確認して、停止スイッチを押してください。そのあと、調理スイッチを押してください。
iSBC	容器蓋がしっかり閉まっていない。	容器蓋をしっかりと閉めてください。
iSCO	容器蓋が正しい向きに取り付けられていない。	容器蓋が正しい向きに取り付けられているか確認し、向きが間違っている場合は、正しい向きに直してください。
iSBA or iSCO、その後 iSBC And iSCU	容器が、垂直の位置になっていない。	容器蓋を開けて、容器を垂直の位置にしてください。容器を垂直にしましたら、ブレーキレバーでしっかりと固定してください。
Pto or rth or bPAを4秒毎に繰り返し表示	停止スイッチが押され続けている。	停止スイッチから指を離してください。
	モーターが熱くなって、モーター保護装置がはたらいた。 (安全表示ランプ(赤色)が点灯)	安全表示ランプ(赤色)が消灯するまで(7分から10分)待ってから、ご使用ください。 10分以上待ってもタイマー表示ディスプレイにメッセージが表示される場合は、お買上げ店へ連絡してください。
	本機を連続して長時間使っていた。	1分から2分待ってから、ご使用ください。 2分以上待ってもタイマー表示ディスプレイにメッセージが表示される場合は、お買上げ店へ連絡してください。
	—	本機専用電源を「ON (入)」にしたときに、このメッセージが表示される場合は、お買上げ店へ連絡してください。

メッセージ	原因	手当
rRELEASE bP1	低速調理スイッチ()が押され続けている。	低速調理スイッチ()から指を離してください。
rRELEASE bP2	高速調理スイッチ()が押され続けている。	高速調理スイッチ()から指を離してください。
rRELEASE bPP	パルススイッチ()が押され続けている。	パルススイッチ()から指を離してください。
not u.u.	制御基板の設定がされていない。	お買上げ店へ連絡してください。
FrEquEnCY	—	本機専用電源を一度「OFF(切)」にしてから、「ON(入)」にしてください。 それでもメッセージが表示される場合は、お買上げ店へ連絡してください。

仕様

品名	ロボクープ カッターミキサー			
型式	R-23	R-45	R-60	
外形寸法	幅 700・奥行 600・高さ1235mm (容器蓋開時 幅955・高さ1700mm) (容器傾け時最大奥行 815mm)	幅 760・奥行 600・高さ1385mm (容器蓋開時 幅1030・高さ1915mm) (容器傾け時最大奥行 815mm)	幅 800・奥行 600・高さ1385mm (突起物を含む奥行 650mm) (容器蓋開時 幅1100・高さ1950mm) (容器傾け時最大奥行 955mm)	
電源	三相 200V 50/60Hz			
電流	18A (15分定格)	35A (15分定格)	45A (15分定格)	
消費電力	4.5kW	10.0kW	12.0kW	
安全装置	蓋安全装置 容器安全装置 サーマルリレー モーターブレーキ安全装置 容器垂直安全装置 モーター保護装置			
回転数	低速 1,500rpm、高速 3,000rpm、パルス 1,500rpm (50Hz) 低速 1,800rpm、高速 3,600rpm、パルス 1,800rpm (60Hz)			
	本体	ステンレス SUS304		
	容器	ステンレス SUS304 (質量 4.1kg) (内径φ320・深さ290mm)	ステンレス SUS304 (質量 6.8kg) (内径φ400・深さ380mm)	ステンレス SUS304 (質量 11kg) (内径φ455・深さ380mm)
	容器蓋	ポリカーボネイト		
容器容量	23L	45L	60L	
液体物処理量	16L (低速回転時)	26L (低速回転時)	30L (低速回転時)	
タイマー設定範囲	5秒～最大15分 (カウントダウン0で停止)			
質量	112.7kg (本体103.9kg + 容器・ カッター-Assy8.8kg)	138kg (本体125.0kg + 容器・ カッター-Assy 13.0kg)	150kg (本体134.7kg + 容器・ カッター-Assy 15.3kg)	
電源コード	長さ：3.0m 4心 2.5mm ²	長さ：3.0m 4心 16.0mm ²	長さ：3.0m 4心 16.0mm ²	

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

付属品	カッター取外し固定具	1 個
	容器底シールパッキン	1 個
	カッター取外し棒	1 本
	容器蓋用キャップ	1 個
	蓋用ワイパー	1 組
	オイルシール	1 個
	砥石	1 個
	粗い波刃	1 組(3枚)
	取扱説明書 (本書)	1 冊

保証書(別添付)について

保証書の内容をよくお読みのうえ、必要事項を必ずご記入ください。

保証書から返信ハガキを切取っていただき、保証書は紛失にご注意され、お客様にて大切に保管してください。

返信ハガキは商品ご購入後、1か月以内にご返信ください。

消耗部品

本商品の消耗部品は以下のものになります。

カッター	オイルシール	容器蓋
容器蓋用キャップ	蓋用ワイパー	パッキン類
カッターカバー	カッター取外し棒	カッター取外し固定具
Oリング	—	—

補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品とは、本商品の性能を維持するために必要な部品です。

弊社では、本商品の補修用性能部品の保有期間は、販売打ち切り後8年とさせていただきます。

株式会社エフ・エム・アイ

東京：〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521

大阪：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営業所 札幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651

仙台：〒983-0039 仙台市宮城野区新田東1丁目15番6号 Tel.022(238)5711

名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891

広島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855

福岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出張所 北陸：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810

沖縄：〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766

サービス盛岡：〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390

ステーション 四国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161

鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東京修理工場：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ <http://www.fmi.co.jp/>

202010 PE'